

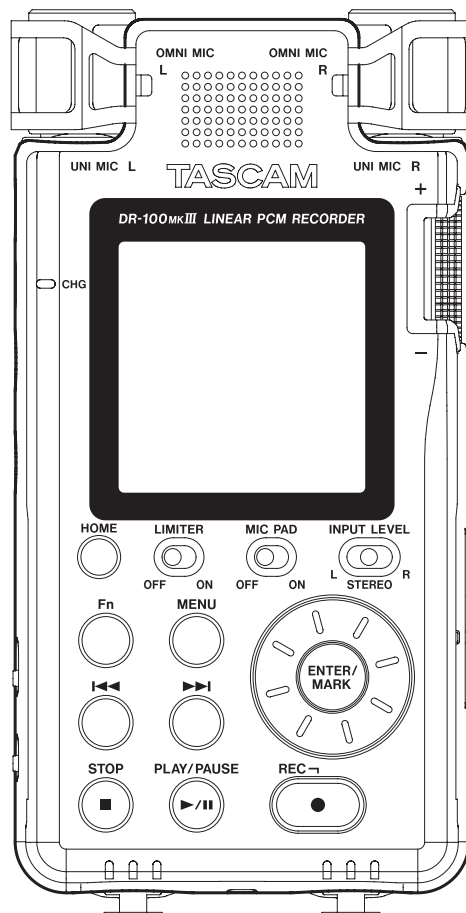
TASCAM

D01303801B

DR-100mkIII

Linear PCM Recorder

リファレンスマニュアル



目次

第1章 はじめに4	リミッターを使う.....23
本機の概要.....4	レベルコントロール機能を使う.....24
本書の表記.....4	MSマイクを使う.....24
リチウムイオン充電電池のリサイクル.....4	デジタルフィルターの特性を選択する (A/Dフィルター).....25
商標および著作権に関して.....4	録音信号のS/Nを改善する (デュアルADC機能).....25
SD カードについて.....5	録音を自動で開始する (オートレック機能).....26
取り扱い上の注意.....5	LEVELモードで録音する.....26
	DIGITALモードで録音する.....26
第2章 各部の名称と働き6	録音開始の少し前から録音する (プリレック機能).....27
トップパネル.....6	録音中にファイルを切り換えて録音を続ける
フロントパネル.....7	(ファイルインクリメント機能).....27
リアパネル.....7	録音中に手でファイルを分割する.....27
左サイドパネル.....7	一定時間間隔で自動的にファイルを分割する.....27
右サイドパネル.....8	同時に2つのファイルに録音する
ボトムパネル.....8	(デュアル録音機能).....28
ホーム画面.....8	2種類のレベルで録音する (デュアルレベル録音).....28
メニューの基本的な操作方法.....10	2種類のフォーマットで録音する
メニューリスト.....12	(デュアルフォーマット録音).....28
ファンクションメニューリスト.....13	デュアル録音時のバックアップファイル名.....29
	オートトーン機能を使う.....29
第3章 準備14	XRIデータ記録機能をオン/オフするには.....29
電源の準備.....14	録音時間について.....30
内蔵バッテリーで使用する.....14	
単3形電池で使用する.....14	第5章 再生31
ACアダプターで使用する (別売).....15	再生する.....31
外付けバッテリーパックで使用する (別売).....15	一時停止する.....31
SDカードを挿入する/取り外す.....15	停止する.....31
挿入する.....15	早戻し/早送りをする (サーチ).....31
取り外す.....15	再生位置を移動する.....31
SDカードのライトプロテクトスイッチについて.....15	再生するファイルを選択する (スキップ).....31
誤操作を防止するホールド機能.....16	繰り返し再生する (ループ再生).....31
電源をオンにする/オフ (スタンバイ状態) にする.....16	速度を変えて再生する (VSA再生).....32
電源をオンにする.....16	
電源をオフ (スタンバイ状態) にする.....16	第6章 ファイルやフォルダーの操作33
リジューム機能.....16	ブラウズ画面を開く.....33
言語を選択する.....17	ブラウズ画面内のアイコンについて.....33
間違った言語を選択してしまった場合.....17	ブラウズ画面内の基本操作.....33
日時を設定する.....17	ファイル操作.....33
SDカードを使えるようにする.....17	フォルダー操作.....34
入力の設定をする.....18	新しいフォルダーを作成する.....35
内蔵ステレオマイクで録音する.....18	ファイルをプロテクトする.....35
マイクで録音する.....18	ファイルを消去する.....35
外部機器から録音する.....18	ファイルを分割する.....36
デジタル機器から録音する.....18	手で分割する (ファイル分割機能).....36
内蔵スピーカーで再生する.....19	マーク位置で分割する (マーク分割機能).....37
モニター用機器を接続する.....19	ファイル名の形式を設定する.....37
再生の音量を調節する.....19	文字 (WORD) の設定.....38
カメラと接続する.....19	ファイル番号の初期化.....38
第4章 録音20	第7章 マーク機能39
録音する.....20	マークの種類.....39
録音可能な残り時間の表示について.....20	マークを付ける.....39
録音中の音を聴く (モニター).....21	手でマークを付ける.....39
ファイルの保存先を設定する.....21	自動でマークを付ける.....39
ファイルフォーマット/サンプリング周波数を設定する.....21	ピークレベル時にマークを付ける.....40
モノラル録音するには (ファイルタイプ設定).....21	マークの位置へ移動する (マークスキップ).....40
録音する入力ソースを設定する.....22	マークを消去する.....40
マイクで使用する電源を設定する.....22	
ファントム電源を使う.....22	第8章 各種設定および情報表示41
プラグインパワーを使う.....23	電源/ディスプレイの設定.....41
ローカットフィルターを設定する.....23	電源のオートパワーセーブ機能の設定.....41

優先して使用する電池を設定する.....	41
単3形電池の種類を設定する.....	41
バックライトの設定.....	41
バックライトの輝度調節.....	41
ディスプレイのコントラスト調節.....	41
インジケータの消灯設定.....	41
ピークレベル機能の設定.....	42
情報を見る.....	42
ファイル情報ページ.....	42
カード情報ページ.....	43
ファームウェア情報ページ.....	43
XRIデータ情報ページ.....	43
出荷時の設定に戻す.....	44
SDカードをフォーマットする.....	44
パワーオンレック機能.....	45
出力をアッテネートする.....	45
ライン出力レベルを制限する.....	45
ヘッドホン出力レベルを制限する.....	45
第9章 パソコンと接続する.....	46
パソコンへファイルを取り出す.....	46
パソコンからファイルを取り込む.....	46
パソコンとの接続を解除する.....	46
第10章 REMOTE端子を使う.....	47
リモコンを使う (TASCAM RC-10).....	47
リモコンを設定する.....	47
リモコンを使う.....	47
フットスイッチを使う (TASCAM RC-3F).....	47
フットスイッチを設定する.....	47
フットスイッチを使う.....	47
第11章 メッセージ.....	48
第12章 トラブルシューティング.....	50
第13章 仕様.....	51
定格.....	51
入出力定格.....	51
アナログオーディオ入出力定格.....	51
デジタルオーディオ入力定格.....	51
コントロール入出力定格.....	51
オーディオ性能.....	51
一般.....	52
寸法図.....	52

第1章 はじめに

本機の概要

- 192kHz / 24bitに対応したリニアPCMレコーダー
- 記録メディアとしてSD / SDHC / SDXCカードを採用
- 単一指向性マイクと無指向性マイクの2種類の高品質ステレオマイクを搭載
- 様々な用途に対応できる豊富な入力端子
- 外部マイク / 外部機器の接続を可能にする+4dBuラインレベル / +48Vファントム電源対応XLR / TRSコンボジャック
- マイク入力 / ライン入力ともに20dBのヘッドルーム
- 2系統のADコンバーターを利用してS/N性能を改善するデュアルADC機能
- 起動してすぐに録音を開始できるパワーオンレック機能
- 2種類のレベルでバックアップ録音できるデュアルレベル録音機能
- 2種類の録音フォーマットで録音できるデュアルフォーマット録音機能
- 内蔵バッテリーと単3形電池を併用することで長時間連続動作が可能

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン / 端子などを「MENUボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を **メニュー** のように表記します。
- 「SDメモリーカード」のことを「SDカード」と表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を “**DR-100MK3**” のように “**__**” で使って表記します。

リチウムイオン充電電池のリサイクル

本機には、内蔵バッテリーとしてリチウムイオン充電電池を使用しています。

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

ご不明な場合は、弊社のタスカム カスタマーサポート（巻末に記載）までお問い合わせください。



商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。



- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- Blackfin® and the Blackfin logo are registered trademarks of Analog Devices, Inc.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

SD カードについて

本機では、SDカードを使って録音や再生を行います。
使用できるカードは、64MB～2GBのSDカード、4GB～32GBのSDHCカード、および48GB～128GBのSDXCカードです。

TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) には、当社で動作確認済みのSDカードのリストが掲載されていますので、ご参照ください。もしくは、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

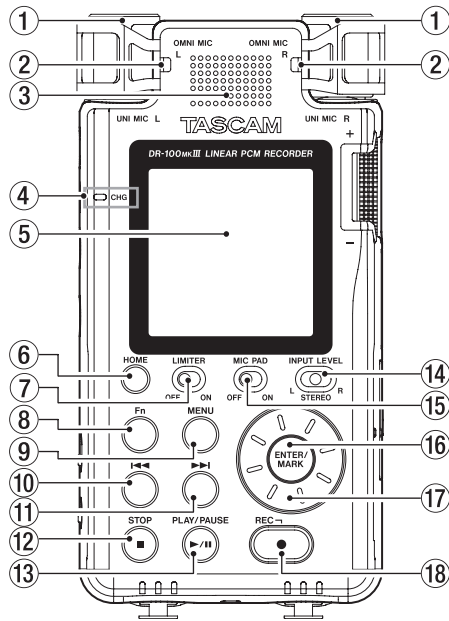
取り扱い上の注意

SDカードは、精密にできています。SDカードの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高いあるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を載せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 録音、再生状態やデータ転送などアクセス中に、抜き差しを行わないこと。
- 持ち運ぶ際、メモリーカードケースなどに入れて運ぶこと。

第2章 各部の名称と働き

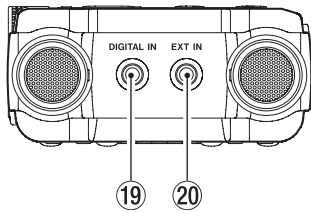
トップパネル



- ① **UNI MIC L / R (内蔵指向性ステレオマイク)**
本体内蔵のエレクトレットコンデンサーステレオマイクです。
- ② **OMNI MIC L / R (内蔵無指向性ステレオマイク)**
本体内蔵のエレクトレットコンデンサーステレオマイクです。
- ③ **内蔵スピーカー (モノラル)**
モニター用の内蔵スピーカーです。
以下の状態では、スピーカーから音は出力されません。
 - ㊦ (スピーカー) スイッチが「OFF」
 - 録音待機中／録音中
 - ヘッドホン接続時
- ④ **CHG (チャージ) インジケーター**
内蔵バッテリーを充電中はオレンジ色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。(→ 14ページ「内蔵バッテリーで使用する」)
- ⑤ **ディスプレイ**
各種情報を表示します。
- ⑥ **HOMEボタン**
各種設定画面表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。
- ⑦ **LIMITERスイッチ**
リミッターを有効にします。(→ 23ページ「リミッターを使う」)
- ⑧ **Fnボタン**
ホーム画面表示中に押すと、**各種機能** 画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)
- ⑨ **MENUボタン**
ホーム画面表示中に押すと、**メニュー** 画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)
メニュー 画面表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

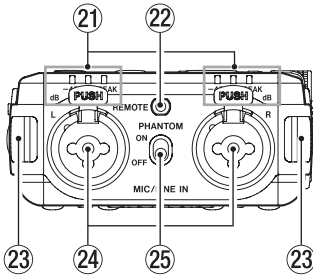
- ⑩ **◀◀ ボタン**
ホーム画面表示中は、ファイルスキップや早戻しサーチを行います。また、**ENTER/MARK**ボタンを押しながらこのボタンを押すと、前のマークに移動します。
メニュー表示中は、画面移動やカーソル移動に使用します。
- ⑪ **▶▶ ボタン**
ホーム画面表示中は、ファイルスキップや早送りサーチを行います。また、**ENTER/MARK**ボタンを押しながらこのボタンを押すと、次のマークに移動します。
録音中に押すと手動でファイルを分割します。
メニュー表示中は、画面移動やカーソル移動に使用します。
- ⑫ **STOP [■] ボタン**
再生中に押すと、その位置で再生を停止します (一時停止)。一時停止中に押すと、そのファイルの先頭に戻ります。
録音待機中または録音中に押すと、録音を停止します。
このボタンを押しながら **⏻/⏷** (電源) ボタンを10秒以上押し続けると、強制的に電源をオフ (スタンバイ状態) にします。
- ⑬ **PLAY/PAUSE [▶/⏸] ボタン**
ホーム画面で停止中に押すと、再生を始めます。
再生中に押すと、一時停止します。
ブラウズ画面でファイルを選択した状態で押すと、ホーム画面に戻り、そのファイルを再生します。
- ⑭ **INPUT LEVEL選択スイッチ**
入力レベルノブで操作する対象を選択します。
- ⑮ **MIC PADスイッチ**
入力感度を切り換えます。
- ⑯ **ENTER/MARKボタン**
各種設定画面の操作では、選択されている項目を決定します。
録音中または再生中に押すと、手動でマークを付けることができます。
このボタンを押しながら **◀◀** ボタンを押すと前のマークに、**▶▶** ボタンを押すと次のマークへ移動します。(→ 40ページ「マークの位置へ移動する (マークスキップ)」)
- ⑰ **ホイール**
各種設定画面において、項目の選択や値の変更に使用します。また、ファイルの再生位置の移動にも使用します。
- ⑱ **REC [●] ボタン / RECインジケーター**
停止中に押すと録音待機状態になり、**REC**インジケーターが点滅します。
録音中に押すと、録音待機状態になります。

フロントパネル



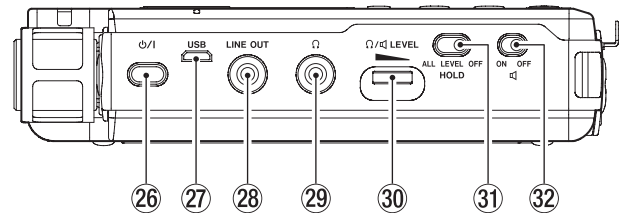
- ①9 **DIGITAL IN端子**
付属のデジタル入力変換ケーブルを接続することにより、本機にデジタル信号を入力することができます。(→ 18ページ「デジタル機器から録音する」)
- ②0 **EXT IN端子**
ステレオミニジャックケーブルを使用してオーディオ機器などのライン出力端子と接続します。

リアパネル



- ②1 **レベルインジケータ**
入力レベルに応じて、「-48 (dB) / -6 (dB) / PEAK」のインジケータが点灯します。
- ②2 **REMOTE端子**
別売の専用フットスイッチ (TASCAM RC-3F) または専用ワイヤードリモコン (TASCAM RC-10) を接続します。リモコンによる再生、停止などの操作が可能になります。(→ 46ページ「第9章 パソコンと接続する」)
- ②3 **ストラップホルダー**
- ②4 **MIC / LINE IN L / R端子 (XLR / TRS)**
XLRバランスタイプのアナログマイク入力と、TRS標準ジャックのバランスアナログ入力端子です。
XLR (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)
TRS (Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)
- ②5 **PHANTOMスイッチ**
MIC / LINE IN端子のファントム電源のオン/オフを選択します。(→ 22ページ「ファントム電源を使う」)

左サイドパネル



- ②6 **⏻ / I (電源) ボタン**
このボタンを押し続けると、電源のオン/オフ (スタンバイ状態) の切り換えを行います。
STOP [■] ボタンを押しながらこのボタンを10秒以上押し続けると、強制的に電源をオフ (スタンバイ状態) にします。

注意

電源を入れる前には、接続機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

②7 USB端子

Micro-BタイプのUSBポートです。
USBケーブル (Type-A - Micro-B) を使って、パソコンと接続することができます。(→ 46ページ「第9章 パソコンと接続する」)
USB端子から本機に電源を供給することができます。(→ 14ページ「電源の準備」)

注意

パソコンとの接続は、USBハブを経由せずに直接接続してください。

②8 LINE OUT端子

ステレオミニジャックケーブルを使用して外部機器のライン入力端子と接続します。

②9 Ω (ヘッドホン) 端子

ヘッドホンを接続する端子です。(→ 19ページ「モニター用機器を接続する」)

③0 Ω/🔊 (ヘッドホン/スピーカー) LEVELボリューム

内蔵スピーカーまたは Ω (ヘッドホン) 端子から出力される音量を調節します。

③1 HOLDスイッチ

このスイッチを「ALL」または「LEVEL」にするとホールド機能が働き、誤操作を防止できます。(→ 16ページ「誤操作を防止するホールド機能」)

③2 🔊 (スピーカー) スイッチ

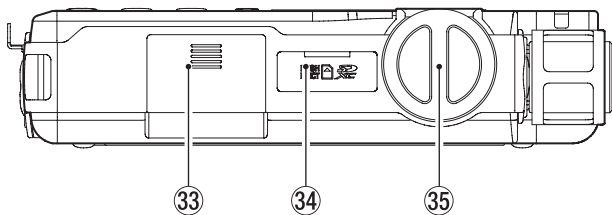
「ON」に設定すると内蔵スピーカーから音が出力されます。

メモ

「ON」にした場合でも録音中や録音待機中、またはヘッドホンを接続しているときには音が出力されません。

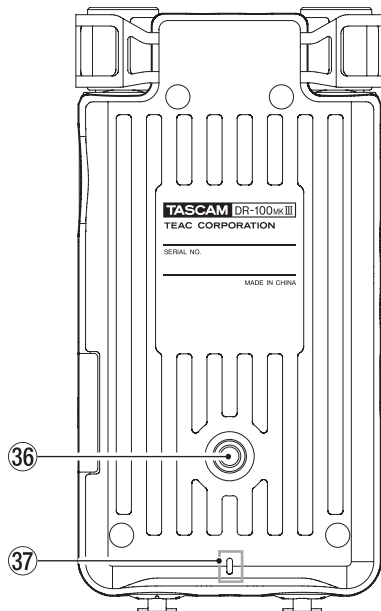
第2章 各部の名称と働き

右サイドパネル



- ③③ 電池ケース（単3形電池）
本機の電源になる電池（単3形電池、2本）を収納するケースです。（→ 14ページ「単3形電池で使用する」）
- ③④ SDカードスロット
SDカードを挿入するカードスロットです。
- ③⑤ 入力レベルノブ
入力信号の音量を調節します。

ボトムパネル



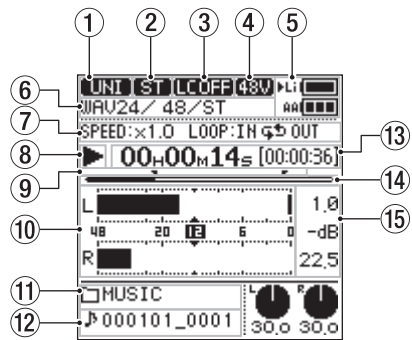
- ③⑥ 三脚取り付け用穴（1 / 4インチ）
本体に三脚を取り付けることができます。

注意

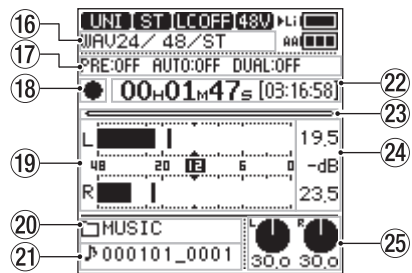
- 本体の落下を防ぐため、三脚またはマイクスタンド各部のネジを確実に締めてください。
- 三脚またはマイクスタンドに本体を取り付けて使用する場合は、三脚を水平な場所に置いてください。
- 三脚によってはネジの規格の違いにより、直接取り付けられない場合があります。その場合は、市販の変換アダプターをご使用ください。
- 長さ4.5mmを超えるネジは取り付けできません。

- ③⑦ RECインジケータ
トップパネルのRECインジケータと同じ動きをします。

ホーム画面



[停止中／再生中]



[録音待機中／録音中]

① 入力ソース表示

入出力設定 画面の 入力ソース 項目にて設定した入力ソース名を表示します。（→ 22ページ「録音する入力ソースを設定する」）

- UNI : UNI MIC（内蔵指向性マイク）から入力
- OMNI : OMNI MIC（内蔵無指向性マイク）から入力
- MIC : MIC/LINE IN端子に接続したマイクから入力
- LINE : MIC/LINE IN端子に接続したライン機器から入力
- EXTM : EXT IN端子に接続したマイクから入力
- EXL : EXT IN端子に接続したライン機器から入力
- D-IN : DIGITAL IN端子に接続したデジタル機器から入力

② 入力チャンネル表示（ST / L / R / MIX表示）

録音設定 画面の ファイル形式 項目の設定を表示します。（→ 21ページ「モノラル録音するには（ファイルタイプ設定）」）

- ST : ステレオ入力/ステレオファイル
- L : Lチャンネル入力/モノラルファイル
- R : Rチャンネル入力/モノラルファイル
- MIX : L-Rミックス入力/モノラルファイル



③ ローカットフィルターオン／オフ状態表示

ローカットフィルターのオン／オフ状態をアイコン表示します。（→ 23ページ「ローカットフィルターを設定する」）

- LC OFF : ローカットフィルターオフ
- LC 40 : ローカットフィルターオン（40Hz）
- LC 80 : ローカットフィルターオン（80Hz）
- LC 120 : ローカットフィルターオン（120Hz）
- LC 220 : ローカットフィルターオン（220Hz）

④ ファントム電源供給の状態表示

PHANTOMスイッチが「ON」のとき、ファントム電源の供給電源電圧値をアイコン表示します。(→ 23ページ「ファントム電源の電圧値の設定」)

- 非表示 : ファントム電源オフ
-  : ファントム電源オン+48V供給
-  : ファントム電源オン+24V供給

⑤ 電源供給の状態表示

電池で電源を供給しているときは、使用中の電池の電池アイコンの左側に ▶ マークを表示します。(→ 41ページ「優先して使用する電池を設定する」)

電池残量に応じて、内蔵バッテリーの電池アイコンは14段階で、単3形電池の電池アイコンは3段階で表示します。

- 内蔵バッテリー :  →  → 
- 単3形電池 :  →  → 

使用中の電池の残量がなくなると電池アイコンが点滅し、もう一方の電池アイコンに ▶ マークが移動します。2つとも電池の残量がなくなると電池アイコンが点滅し、まもなく電源がオフ(スタンバイ状態)になります。

⑥ ファイル形式状態表示

再生ファイルのフォーマット/サンプリング周波数/チャンネルを表示します。








⑦ 再生速度/ループ再生状態表示

VSA再生機能およびループ再生機能の設定状態を表示します。

- SPEED : VSA再生機能の状態を表示します
- LOOP : ループ再生機能の状態を表示します



⑧ トランスポートの状態表示(停止中/再生中)

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
	ファイルの先頭で停止中
	一時停止中
	再生中
	早送り中
	早戻し中
	次のファイルの先頭にスキップ
	現在または手前のファイルの先頭にスキップ

⑨ ループ再生のIN点(始点)、OUT点(終点)の設定状況表示

ループ再生機能がオンのとき、ループ再生のIN点(始点)、OUT点(終点)の設定状況を表示します。

-  : IN点(始点)
-  : OUT点(終点)

⑩ レベルメーター表示


再生音のレベルの最大値(ピーク値)を表示します。

⑪ 再生フォルダー名表示

再生ファイルが保存されているフォルダー名を表示します。

⑫ 再生ファイル名

再生中のファイルのファイル名、またはタグ情報を表示します。ID3タグ情報を持つMP3ファイルの場合は、ID3タグ情報を優先して表示します。

ファイルがプロテクトされている場合は、ファイル名の先頭に  マークが表示されます。(→ 35ページ「ファイルのプロテクトする」)

メモ

ID3タグ情報とは、MP3ファイルに保存可能なタイトルやアーティスト名の情報です。

⑬ 再生時間表示/再生残時間表示

再生中のファイルの経過時間(時:分:秒)と再生残時間(時:分:秒)を表示します。

⑭ 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

⑮ ピーク値のデシベル(dB)表示

再生音のレベルの最大値(ピーク値)をデシベル表示します。

⑯ 録音フォーマット表示

録音ファイルのフォーマット/サンプリング周波数/チャンネルを表示します。



⑰ 各種録音機能状態表示

デュアル録音機能、プリ録音機能およびオート録音機能の設定状態を表示します。

- DUAL : デュアル録音機能の状態を表示します。
- PRE : プリレック機能状態を表示します。
- AUTO : オートレック機能の状態を表示します。

⑱ トランスポートの状態表示(録音待機中/録音中)

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
	録音待機中
	録音中

⑲ レベルメーター表示

入力音のレベルを表示します。

⑳ 録音フォルダー名表示

録音ファイルが保存されるフォルダー名を表示します。

㉑ 録音ファイル名表示

録音するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。


㉒ 録音時間表示/録音可能時間表示

録音ファイルの経過時間(時:分:秒)と設定した入力ソース/ファイルフォーマット/サンプリング周波数におけるSDカードの残時間(時:分:秒)を表示します。

㉓ 録音位置表示

設定した入力ソース/ファイルフォーマット/サンプリング周波数におけるSDカードの残時間をバー表示します。録音の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

㉔ 入力レベルのピーク値のデシベル(dB)表示

入力レベルのピーク値をデシベル表示します。入力レベルがピークレベルを超えると  アイコンを表示します。

㉕ 入力レベル表示

入力レベルの設定値を表示します。

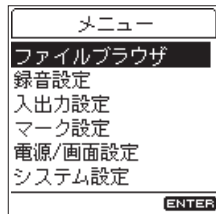
第2章 各部の名称と働き

メニューの基本的な操作方法

メニュー画面も各種機能画面も基本的な操作方法是同じです。ここでは、デュアル録音の設定を例にメニュー画面の操作方法を説明します。

1. メニュー画面を表示する

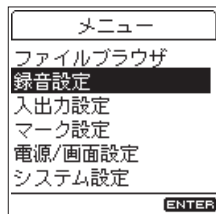
ホーム画面でMENUボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。



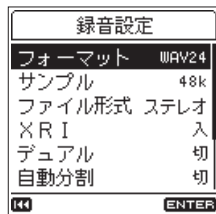
- HOMEボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

2. 録音設定画面を表示する

ホイールを回して変更したいメニュー項目（ここでは録音設定）にカーソルを合わせ、ENTER/MARKボタンを押します。



録音設定画面が表示されます。



- ◀◀ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- HOMEボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

3. デュアル画面を表示する

ホイールを回して変更したい項目（ここではデュアル）にカーソルを合わせ、ENTER/MARKボタンを押します。



デュアル画面が表示されます。



- 動作モードなどによって設定変更できない設定値については、*** と表示されます。
- ◀◀ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- HOMEボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

4. 設定を変更する

ホイールを回して変更したい項目（ここではモード）にカーソルを合わせ、ENTER/MARKボタンを押します。



設定変更画面が表示されます。



- 右上部に現在の設定が表示されています。カーソルを移動しても表示は変わりません。
- ENTER/MARKボタンで変更を確定する前に◀◀ボタンを押すと変更が取り消され、1つ前の画面に戻ります。
- HOMEボタンを押すと変更が取り消され、ホーム画面に戻ります。
- MENUボタンを押すと変更が取り消され、メニュー画面に戻ります。
- ENTER/MARKボタンを押すと変更が確定し、1つ前の画面に戻ります。

ホイールを回して **フォーマット** にカーソルを合わせ、**ENTER/MARK**ボタンを押します。



同様の操作で **フォーマット** 項目の設定を変更することができます。
変更が終了した場合は、**HOME**ボタンを押してホーム画面に戻ります。

メモ

- **メニュー** 画面は、録音待機中／録音中は、表示させることができません。
- **各種機能** 画面は、停止中／再生中と録音待機中／録音中で表示される内容が異なります。

設定値がオン／オフの場合

設定がオン／オフの場合は、設定変更画面が表示されず、すぐに変更されます。

(例) プリレックの設定の変更



ENTER/MARKボタンを押します。



設定が変更されました。

ENTER/MARKボタンを押すたびに設定が変更されます。

確認が必要な変更や実行機能の場合

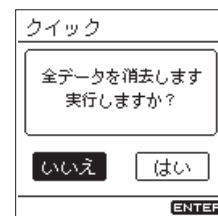
設定の内容によっては、変更を確認するメッセージ画面が表示されるものもあります。

(例) クイックフォーマットの実行



ENTER/MARKボタンを押すと、確認画面が表示されます。確認画面が表示されるとき、必ず「いいえ」にカーソルがあります。

「いいえ」にカーソルを合わせ、**ENTER/MARK**を押すと、実行を中断し、1つ前の画面に戻ります。



ホイールを回して「はい」にカーソルを合わせ、**ENTER/MARK**を押すと、機能を実行し、1つ前の画面に戻ります。

- **HOME**ボタンを押した場合は実行を中断し、ホーム画面に戻ります。
- **MENU**ボタンを押した場合は実行を中断し、**メニュー**画面に戻ります。

第2章 各部の名称と働き

メニューリスト

MENUボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

メニューの項目は、以下の通りです。

メニュー項目	機能	参照ページ	
ファイルブラウザ	SDカード内のファイル、フォルダー操作	→ 34ページ	
録音設定	フォーマット	録音ファイルフォーマットの設定	→ 21ページ
	サンプル	サンプリング周波数の設定	→ 21ページ
	ファイル形式	ファイルタイプの設定	→ 21ページ
	MRI	XRIデータ記録機能のオン/オフの設定	→ 29ページ
	デュアル	デュアル録音機能の設定	→ 28ページ
	自動分割	一定時間間隔で自動的にファイルを分割する録音時間の設定	→ 27ページ
	オートレック	オートレック機能の設定	→ 26ページ
	プリレック	プリレック機能の設定	→ 27ページ
	オートトーン	オートトーン機能の設定	→ 29ページ
入出力設定	入力ソース	入力ソースの設定	→ 22ページ
	A/Dフィルタ	A/Dコンバーターのフィルターの設定	→ 25ページ
	デュアルADC	S/N性能を向上する機能のオン/オフ設定	→ 25ページ
	ローカット	ローカットフィルターの設定	→ 23ページ
	RECレベル制御	レベルコントロール機能の設定	→ 24ページ
	MSデコード	MSデコード機能の設定	→ 24ページ
	ファントム電圧	ファントム電源の電圧値の設定	→ 23ページ
	プラグインパワー	プラグインパワーのオン/オフ設定	→ 23ページ
出力アッテネータ	出力アッテネーター機能の設定	→ 45ページ	
マーク設定	オートマーク	オートマーク機能の設定	→ 39ページ
	ピークマーク	ピークマーク機能のオン/オフ設定	→ 40ページ
	スキップ対象	マークスキップモードの設定	→ 40ページ
電源/画面設定	電源自動オフ	オートパワーセーブ機能の設定	→ 41ページ
	バッテリー	内蔵バッテリーおよび電池に関する設定	→ 41ページ
	バックライト	バックライトの点灯時間設定	→ 41ページ
	明るさ	バックライトの明るさ設定	→ 41ページ
	コントラスト	コントラスト調節	→ 41ページ
	LED	インジケータのオン/オフ設定	→ 41ページ
	ピークレベル	レベルメーターのピークホールド機能を設定	→ 42ページ
システム設定	情報表示	各種情報の表示	→ 42ページ
	日時設定	日付の設定	→ 17ページ
	ファイル名形式	ファイル名の形式の設定	→ 37ページ
	番号リセット	ファイル番号の初期化	→ 38ページ
	リモート設定	接続するリモコンの設定	→ 47ページ
	言語選択	ディスプレイに表示する言語の設定	→ 17ページ
	設定初期化	工場出荷時の設定に戻す	→ 44ページ
	カード初期化	SDカードの初期化	→ 44ページ
	USBストレージ	USBマストレージモードへの切り換え	→ 46ページ

注意

- 録音待機中または録音中、メニュー画面は表示されません。
- 各メニュー項目で設定した内容は、電源をオフ（スタンバイ状態）にしても保持されます。

ファンクションメニューリスト

ファンクションメニューの内容は、選択されている再生ファイルまたは録音ファイルに対する機能です。

- ホーム画面表示中にFnボタンを押すと、**各種機能** 画面が表示されます。
Fnボタンを押したときの本機の状態で、表示される機能が異なります。

メニュー項目	機能	参照ページ	
停止中／一時停止中／再生中	プロテクト変更	ホーム画面で選択中のファイルのプロテクト変更	→ 35ページ
	ファイル消去	ホーム画面で選択中のファイルを消去	→ 35ページ
	分割	ホーム画面で選択中のファイルを分割	→ 36ページ
	ループ再生	ループ再生の設定	→ 31ページ
	可変速再生 (VSA)	VSA再生の設定	→ 32ページ
	MSデコード	MSデコード機能の設定	→ 24ページ
	ファイル情報	ホーム画面で選択中のファイルのファイル情報を表示	→ 42ページ
録音待機中／録音中	ローカット	ローカットフィルターの設定	→ 23ページ
	RECレベル制御	レベルコントロール機能の設定	→ 24ページ
	MSデコード	MSデコード機能の設定	→ 24ページ
	バッテリー	内蔵バッテリーおよび電池に関する設定	→ 41ページ

- ブラウズ画面のフォルダーまたはファイルを選択中にFnボタンを押すと、**フォルダメニュー** 画面または **ファイルメニュー** 画面が表示されます。

メニュー項目	機能	参照ページ	
ブラウズ画面ファイル 選択中	ファイル情報	選択したファイルのファイル情報を表示	→ 33ページ
	ファイル消去	選択中のファイルを消去	→ 35ページ
	プロテクト変更	選択したファイルのプロテクトの変更	→ 35ページ
	全マーク消去	選択したファイルに付いているマークを全て消去	→ 34ページ
ブラウズ画面フォル ダー選択中	全ファイル消去	選択したフォルダー内のファイルを全て消去	→ 34ページ
	フォルダ消去	選択したフォルダーを消去	→ 34ページ

第3章 準備

電源の準備

本機は、内蔵バッテリーにリチウムイオン充電電池を使用しています。また、単3形電池2本、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）接続、市販のUSBケーブルを使って（USBバスパワー供給、別売の専用外付けバッテリーパック（TASCAM BP-6AA）接続）、本機に電源を供給します。

本機は、単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル水素電池または単3形リチウム乾電池を使用することができます。

内蔵バッテリーで使用する

お買い上げ後にはじめて使用するとき、または長期間使用しなかったときは、充電をしてからご使用ください。

内蔵バッテリーを充電するには：

内蔵バッテリーは、次の2つの方法で充電することができます。

● ACアダプターで充電する

別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）と本機のUSB端子を接続し、充電します。（→ 15ページ「ACアダプターで使用する（別売）」）

充電時間は、約4.5時間です。

● パソコンと接続して充電する

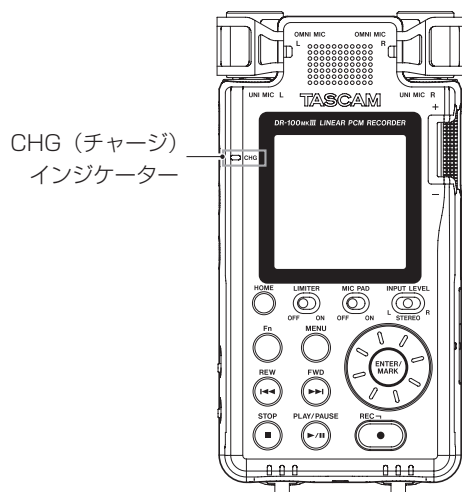
パソコンと本機のUSB端子をUSBケーブル（Type-A - Micro-B）で接続し、充電します。（→ 46ページ「第9章 パソコンと接続する」）

充電時間は、約10時間です。

メモ

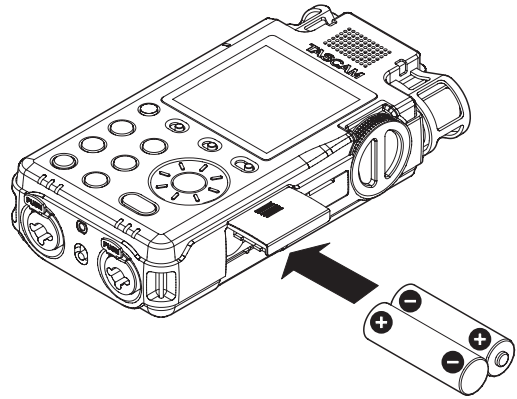
- 本機とパソコンは必ず直接接続してください。USBハブなどを經由して接続した場合、正常に充電できないことがあります。
- USB接続中は、本機の電源を入れなくても充電できます。
- 充電中は、CHG（チャージ）インジケータが以下のように点灯します。

オレンジ色に点灯 : 充電中
緑色に点灯 : 充電完了



単3形電池で使用する

1. 電池ケースのカバーをボトムパネル側に引いてから、カバーを開きます。
2. 電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて、単3形電池を2本セットします。
3. 電池ケースのカバーを閉めます。



電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別を正しく行うために、使用する電池の種類を設定してください（初期値：アルカリ乾電池）。（→ 41ページ「単3形電池の種類を設定する」）

注意

- 単3形マンガン乾電池は、使用できません。
- 本機で単3形ニッケル水素電池を充電することはできません。市販の充電器をご使用ください。

メモ

コンデンサーマイクへファントム電源を供給した場合は、電力を多く消費します。単3形電池（アルカリ乾電池、ニッケル水素電池またはリチウム乾電池）で供給しているときに、コンデンサーマイクを使用すると稼働時間が短くなります。

長時間稼働させたい場合は、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）や外付けバッテリーパック（TASCAMPB-6AA）を使って、本機に電源を供給してご使用ください。

電池を併用して使用するには

内蔵バッテリーと単3形電池を併用することで長時間の連続動作が可能になります。

優先して使用する電池が動作可能な残量を下回ると、もう一方の電池に自動的に切り換わり、動作を継続します。（→ 41ページ「優先して使用する電池を設定する」）

内蔵バッテリー動作中は、単3形電池を交換することができます。

注意

単3形電池で動作中に単3形電池を交換すると電源が切れることがあります。その場合は録音データや設定などが失われます。

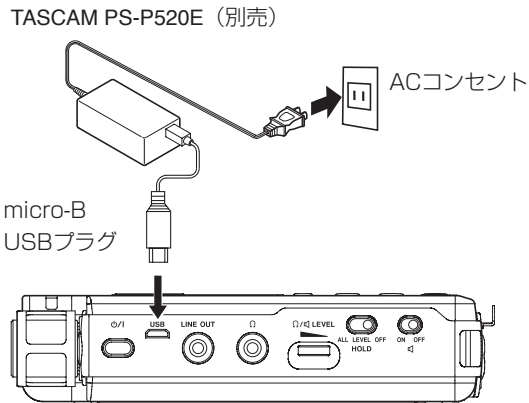
単3形電池を交換する場合は、ホーム画面で内蔵バッテリーの残量が十分あることを確認してから、優先使用電池を内蔵充電電池に変更したうえで交換を行ってください。

単3形電池を優先使用電池として使用する場合は、単3形電池を交換後に優先使用電池の設定を単3電池に設定してください。

停止中／再生中は **電源／画面設定** 画面の **バッテリー** 項目で、録音待機中／録音中は **各種機能** 画面の **バッテリー** 項目で優先使用電池切り換えることができます。

ACアダプターで使用する（別売）

図のように、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）と本機のUSB端子を接続します。



メモ

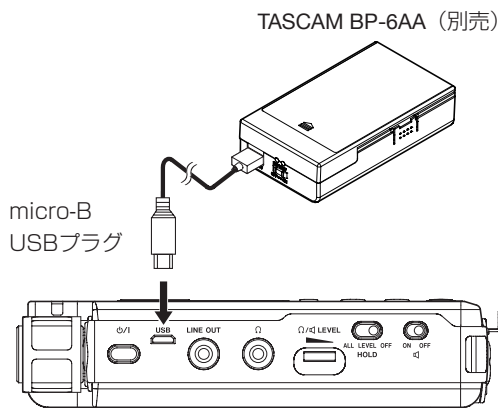
ACアダプターを接続した場合は、ACアダプターから電源が供給されます。また、本機を使用しながら充電することができます。

注意

本体をACアダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときには、ACアダプターを本体から離してお使いください。

外付けバッテリーパックで使用する（別売）

図のように、別売の専用外付けバッテリーパック（TASCAM BP-6AA）と本機のUSB端子をUSBケーブル（Type-A - Micro-B）で接続します。詳しい使い方は、BP-6AAの取扱説明書をご覧ください。



注意

BP-6AAの電池残量は、本機からは検知できません。

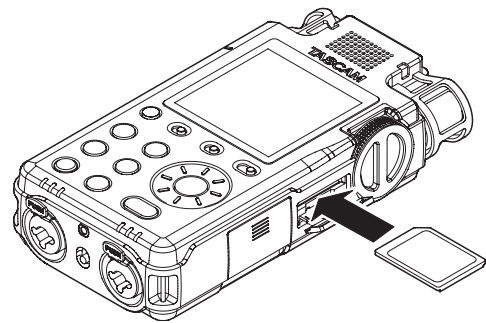
SDカードを挿入する／取り外す

注意

- 使用できるSDカードは、SD/SDHC/SDXC規格に対応したカードです。
- TASCAMのウェブサイト（<https://tascam.jp/jp/>）には、当社で動作確認済みのSDカードのリストが掲載されています。

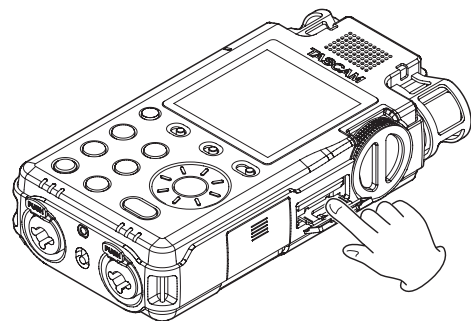
挿入する

1. SDカードスロットのカバーを開きます。
2. SDカードを図の方向にカチッと音がするまで差し込みます。
3. SDカードスロットのカバーを閉めます。



取り外す

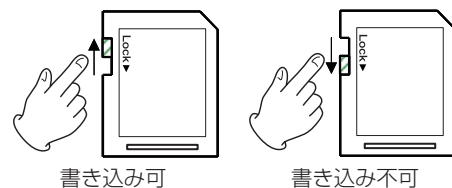
1. SDカードスロットのカバーを開きます。
2. SDカードを軽く押し込んでから放すと手前に出てきます。



SDカードのライトプロテクトスイッチについて

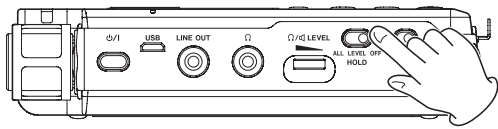
SDカードには、プロテクト（書き込み防止）スイッチが付いています。

プロテクトスイッチを「LOCK」の方向へスライドするとファイルの記録や編集ができなくなります。録音や消去などを行う場合は、書き込み禁止を解除してください。



誤操作を防止するホールド機能

HOLDスイッチを「LEVEL」または「ALL」にすると操作を無効にでき、誤操作を防止できます。



- ALL : 入力レベルノブ操作と全てのボタン操作を無効
- LEVEL : 入力レベルノブ操作を無効
- OFF : ホールド機能オフ

電源をオンにする／オフ（スタンバイ状態）にする

注意

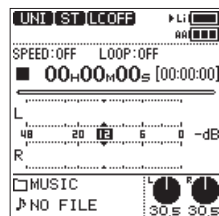
- 本機の電源のオン／オフ（スタンバイ状態）は、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。
- 電源をオン／オフ（スタンバイ状態）にするときにヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、ヘッドホンのドライバユニットや聴覚を損傷する恐れがあります。

電源をオンにする

電源がオフ（スタンバイ状態）時に、**電源** ボタンを押し続け、起動画面が表示されたら離します。
本機が起動してホーム画面が表示されます。



[起動画面]



[ホーム画面]

電源をオフ（スタンバイ状態）にする

電源オン時に **電源** ボタンを押し続け、シャットダウン画面が表示されたら離します。

シャットダウン処理が実行され、電源がオフ（スタンバイ状態）になります。



メモ

録音待機中／録音中は、電源をオフ（スタンバイ状態）にすることはできません。

注意

電源をオフ（スタンバイ状態）にするときは、必ず **電源** ボタンで行ってください。

正しくシャットダウン処理が行われないと、録音データや設定などが全て失われる場合があります。なお、失われたデータや設定は、復活することができません。

リジューム機能

本機は電源をオフ（スタンバイ状態）にするとき、停止した位置を記憶します。

次に電源をオンにしたとき、その停止した位置から再生することができます。

メモ

停止した位置はSDカードに記録されるため、カードを入れ換えた場合にはリジュームできません。

言語を選択する

本機は、ディスプレイに表示される言語を切り換えることができます。お買い上げ後にはじめて電源をオンにしたとき、メニューやメッセージに使用する言語を設定する **言語選択** 画面が表示されます。また、**システム設定** 画面の **言語選択** 項目で再設定することができます。



1. ホイールを回してカーソルを移動し、言語を選択します。

選択肢

ENGLISH	: 英語で表示
日本語	: 日本語で表示
FRANÇAIS	: フランス語で表示
ESPAÑOL	: スペイン語語で表示
DEUTSCH	: ドイツ語で表示
ITALIANO	: イタリア語で表示

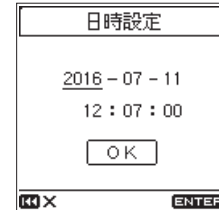
2. 選択が完了したら、ENTER/MARKボタンを押して確定します。

間違った言語を選択してしまった場合

⏻/I (電源) ボタンを押して電源をオフにしたあと、MENUボタンを押しながら ⏻/I (電源) ボタンを押してください。言語選択メニューが表示され、言語の選択が可能となります。

日時を設定する

本機は、本体時計の日時を基に、ファイル名を付けることができます。(→ 37ページ「ファイル名の形式を設定する」)
あらかじめ時計を合わせておくと、録音日時を正確に記録できます。お買い上げ後にはじめて電源をオンにしたとき、または日時設定がリセットされているとき、日時を設定する **日時設定** 画面が表示されます。また、**システム設定** 画面の **日時設定** 項目で再設定することができます。



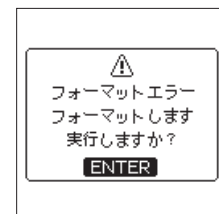
1. ホイールを回してカーソルを設定する「年」/「月」/「日」/「時」/「分」/「秒」に移動し、ENTER/MARKボタンを押します。
2. ホイールを回して値を変更し、ENTER/MARKボタンを押します。
3. ホイールを回してカーソルを「OK」に合わせ、ENTER/MARKボタンを押すと確定します。

メモ

内蔵バッテリーや単3電池、さらには外部給電がない状態が数分続くと、日時の設定はリセットされます。

SDカードを使えるようにする

電源をオンしたとき、フォーマットされていないカードが挿入されていると以下のようなメッセージが表示されます。



本機でSDカードを使えるようにするために、本機でフォーマットする必要があります。

ENTER/MARKボタンを押して、フォーマットを実行してください。

注意

- フォーマットするとSDカードの全てのデータが消去されます。パソコンなどにバックアップしてからフォーマットを実行してください。
- フォーマットは、外部から給電するか、電池の残量が十分な状態で行ってください。

メモ

システム設定 画面の **カード初期化** 項目でもフォーマットを行うことができます。(→ 44ページ「SDカードをフォーマットする」)

入力の設定をする

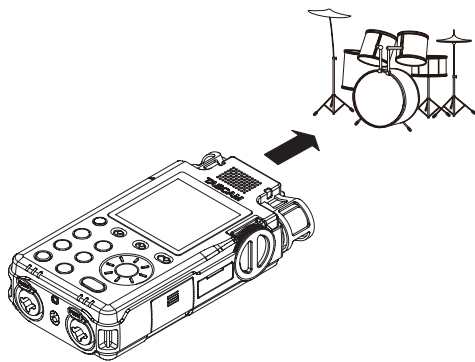
豊富な入力の中から、用途に合わせて入力を選択することができます。また、使用する入力ソースに合わせた設定をする必要があります。(→ 22ページ「録音する入力ソースを設定する」)

内蔵ステレオマイクで録音する

UNI MIC (内蔵指向性マイク) を使って録音する

楽器演奏やバンドなどのライブ録音、フィールドレコーディングなどに適しています。

UNI MIC (内蔵指向性マイク) を音源の方向へ向け、振動の少ない安定した場所に設置してください。



OMNI MIC (内蔵無指向性マイク) を使って録音する

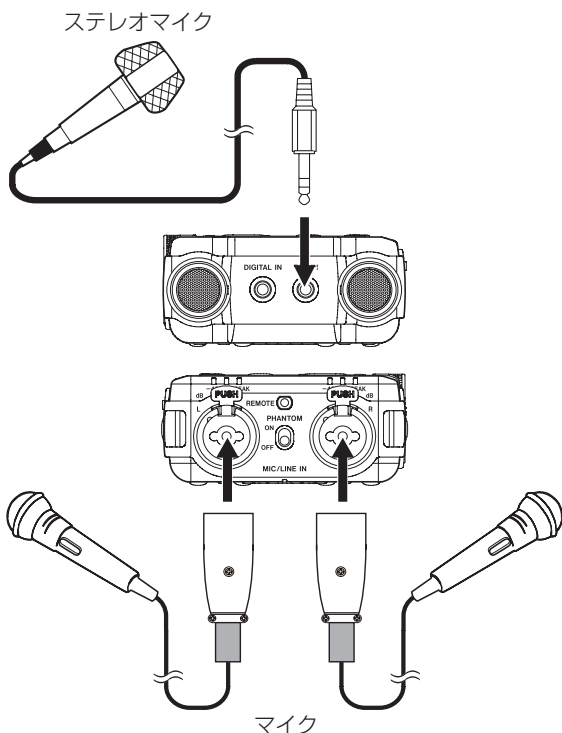
会議録音など、広い空間の全体を録音したいときなどに適しています。振動の少ない安定した場所に設置してください。

マイクで録音する

マイクをMIC/LINE IN端子のXLRジャックまたはTRSジャックに接続してください。

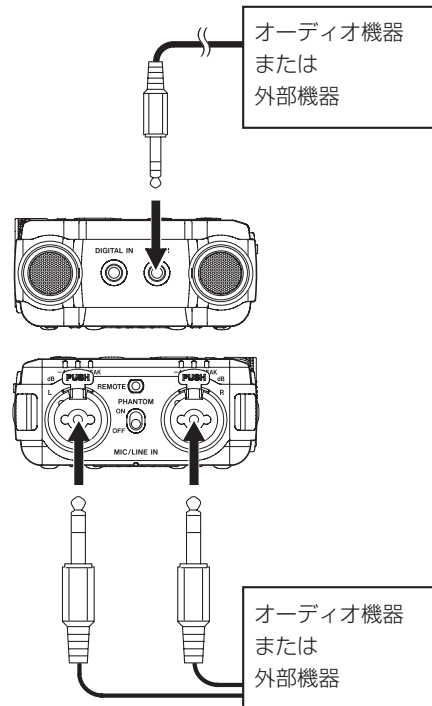
ステレオマイクを接続する場合は、EXT IN端子に接続してください。

マイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。



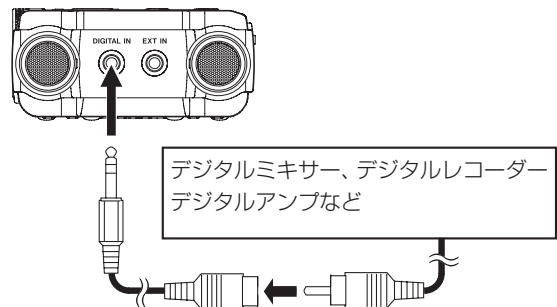
外部機器から録音する

外部オーディオ機器をMIC/LINE IN端子のXLRジャックまたはTRSジャックに接続してください。ステレオミニケーブルの場合は、EXT IN端子に接続してください。



デジタル機器から録音する

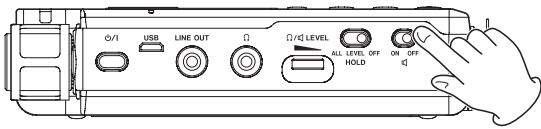
付属のデジタル入力変換ケーブルを使用して、DIGITAL IN端子に外部デジタルオーディオ機器の出力を接続します。



入出力設定 画面の 入力ソース 項目を DIGITAL に設定すると、外部デジタルオーディオ機器からのデジタル出力を録音することができます。(→ 22ページ「録音する入力ソースを設定する」)

内蔵スピーカーで再生する

本機の内蔵スピーカーで再生音を聴く場合は、 Ω (スピーカー) スイッチを「ON」に設定してください。



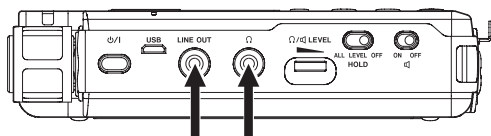
メモ

録音待機中または録音中のとき、またはヘッドホンを接続すると、 Ω (スピーカー) スイッチが「ON」に設定されていても、スピーカーから音は出力されません。

モニター用機器を接続する

外部モニターシステム (パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー) で聴く場合は、**LINE OUT**端子に外部モニターシステムを接続してください。

ヘッドホンで聴く場合は、 Ω (ヘッドホン) 端子にヘッドホンを接続してください。

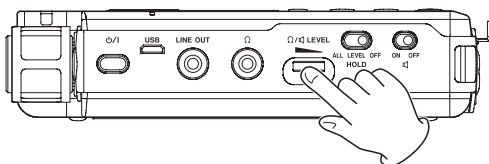


パワードモニタースピーカー
または
アンプとスピーカー

ヘッドホン

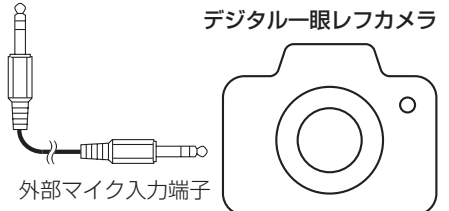
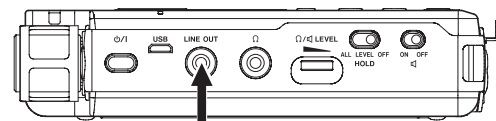
再生の音量を調節する

内蔵スピーカーおよび Ω (ヘッドホン) 端子から出力される音量を、 Ω/Ω (ヘッドホン/スピーカー) **LEVEL**ボリュームを操作して音量を調節します。(→ 45ページ「ヘッドホン出力レベルを制限する」)



カメラと接続する

カメラでの動画撮影時に、カメラと同じ音声を同時に録音することができます。カメラに音声を入力するために、本機とカメラを接続する場合は、以下のように接続してください。



メモ

カメラと接続する場合、ライン出力レベルを30dBアッテネート(減衰)することができます。(→ 45ページ「ライン出力レベルを制限する」)

第4章 録音

録音する

本機では、録音フォーマットやサンプリング周波数、リミッターやレベルコントロール、ローカットフィルターなどの機能を設定して、より良い音質で録音できます。

ここでは、UNI MIC（内蔵指向性マイク）を使った基本的な録音について説明します。

1. 本体を設置する

UNI MIC（内蔵指向性マイク）を音源の方向へ向け、振動の少ない安定した場所に設置してください。（→ 18ページ「入力の設定をする」）

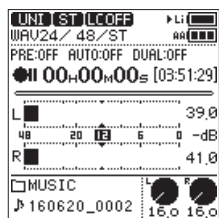
2. 入力ソースを選択する

入力ソースとして「UNI MIC」を選択します。（→ 22ページ「録音する入力ソースを設定する」）

録音ファイルの保存先を変更する場合は、21ページ「ファイルの保存先を設定する」を参照してください。

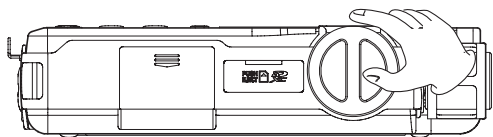
3. 録音待機状態にする

RECボタンを押すとRECインジケーターが点滅し、録音待機状態になります。



4. 録音レベルを調節する

レベルメーターとレベルインジケーターを見ながら入力レベルノブを回し、録音レベルを調節します。



入力レベルは、レベルメーターまたはレベルインジケーターの両方で確認することができます。

レベルメーターを見ながら-12dBを目安に、ピークレベルを超えないように適切な録音レベルに調節してください。

ピークレベルを超えると歪みが発生する場合があります。ピークレベルを超えた場合、入力レベルのピーク値のデシベル(dB)表示部に **OVER** アイコンが表示され、レベルインジケーターの「PEAK」が点灯します。

調節するチャンネルを選択するには

- INPUT LEVEL選択スイッチを「STEREO」に合わせると、左右（L / R）の録音レベルを同時に調節することができます。
- 左右のバランスを変えたい場合は、INPUT LEVEL選択スイッチを「L」または「R」に合わせることで、それぞれ独立して録音レベルを調節することができます。
- 左右の入力レベルが異なる状態でINPUT LEVEL選択スイッチを「STEREO」に合わせると、差を維持したまま連動させて調節することができます。

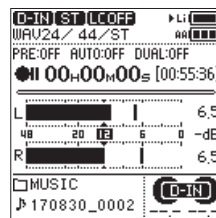
入力感度を切り換えるには

入力レベルノブを下げ切ってもピークレベルを超える場合は、MIC PADスイッチを「ON」にしてください。それでもまだピークレベルを超える場合は、音源の音量

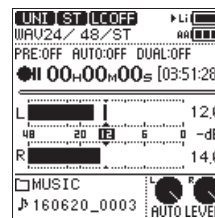
を下げる、または音源からマイクを遠ざけてください。

メモ

- 入力ソースに「DIGITAL」を選択した場合やレベルコントロール機能の「オートレベル」を選択した場合は、録音レベルは調節できません。



[DIGITAL の場合]



[オートレベルの場合]

- 入力ソースとして「LINE / EXT LINE / DIGITAL」のいずれかを選択した場合は、MIC PADは無効です。
- 入力ソースに「DIGITAL」を選択し録音を行っている最中にデジタル入力がアンロックとなった場合、「DIGITAL」を選択する前に設定されていた入力ソースに切り換えて録音を継続します。

5. 録音を開始する

録音待機中にRECボタンを押すとRECインジケーターが点灯に切り換わり、録音を開始します。

録音を一時停止するには

録音中にRECボタンを押すとRECインジケーターが点滅し、録音一時停止状態になります。

再度RECボタンを押すと、録音を再開します。

6. 録音を終了する

STOPボタンを押すと録音を終了します。

注意

本機は、音量の小さい音でも録音ができるよう、高ゲイン設計となっています。そのため、ACアダプター使用時に録音レベルを高く設定すると、マイク部に触れるとノイズ（ハム、うなり）が聴こえる場合があります。

内蔵マイクでの録音中は、マイク部に触らないようにしてください。

録音可能な残り時間の表示について

録音中に録音可能な残り時間（カード残量）が10分未満になると、ホーム画面の録音可能時間が点滅します。

残り時間がなくなると「カード容量の上限です」というメッセージが表示され、録音が停止します。

メモ

ファイルサイズが2GBを超えると、自動的に新しいファイルを作成し、録音を継続します。また、録音時間が24時間を超えると、自動的に新しいファイルを作成し、録音を継続します。

録音中の音を聴く（モニター）

録音待機時や録音中は、 \square （スピーカー）スイッチが「ON」の場合でもスピーカーから音は出ません。

特にマイクを使って録音するときは、外部のスピーカーでモニターすると、スピーカーの出力音が入力されて正常な音で録音できない、またはハウリング（フィードバック）を起こす可能性があります。モニター音を聴きながらレベル調節や録音を行う場合は、ヘッドホンをご使用ください。

モニター音量は、 Ω/\square （ヘッドホン／スピーカー）LEVELボリュームで調節できます。録音される音には、影響ありません。

ファイルの保存先を設定する

録音したファイルを保存するフォルダーを設定します。

1. メニュー画面の **ファイルブラウザ** 項目を選択し、ブラウザ画面を表示します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）
2. ファイルを保存するフォルダーを選択します。
3. **ENTER/MARK** ボタンを押して、保存先のフォルダーを確定しホーム画面に戻ります。
新しいフォルダーを作る場合は、35ページ「新しいフォルダーを作成する」を参照してください。

ファイルフォーマット／サンプリング周波数を設定する

録音を実行する前に **録音設定** 画面の各項目を使って、録音ファイルのファイル形式を設定します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）

ファイルフォーマットの設定

フォーマット 画面を表示し、ファイルフォーマットを設定します。

選択肢	音質	録音時間
WAV(BWF) 24 bit (初期値)	高い	短い
WAV(BWF) 16 bit		
MP3 320 kbps	低い	長い
MP3 256 kbps		
MP3 192 kbps		
MP3 128 kbps		

メモ

- BWFは放送局用のフォーマットで、音質はWAVと同等です。ファイルの拡張子は「.wav」で、WAVファイルの拡張子と同じです。本誌では、BWFに対応したWAVファイルを「BWF」、BWFに対応していないWAVを「WAV」と表記します。
- WAV / BWFの方がMP3よりも高音質で録音ができます。
- MP3の方がWAV / BWFよりも長時間録音ができます。
- MP3の場合は、値が大きいほど高音質で録音ができます。

サンプリング周波数の設定

サンプル 画面を表示し、サンプリング周波数を設定します。

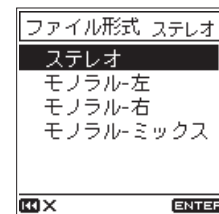
選択肢	音質	録音時間
192.0 kHz	高い	短い
176.4 kHz		
96.0 kHz	低い	長い
88.2 kHz		
48.0 kHz (初期値)		
44.1 kHz		

メモ

ファイル形式がMP3のときは、192.0 kHz / 176.4 kHz / 96.0 kHz / 88.2 kHz は選択できません。

モノラル録音するには（ファイルタイプ設定）

1. **録音設定** 画面の **ファイル形式** 項目を選択し、**ファイル形式** 画面を表示します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



2. 録音するチャンネルを設定します。

選択肢	内容
ステレオ (初期値)	L / Rチャンネル入力をステレオファイルとして録音
モノラル-左	Lチャンネル入力をモノラルファイルとして録音
モノラル-右	Rチャンネル入力をモノラルファイルとして録音
モノラル-ミックス	L / Rチャンネル入力をモノラルミックスしてモノラルファイルとして録音

録音する入力ソースを設定する

入出力設定 画面の 入力ソース 項目で、録音する入力ソースを設定します。

1. 入出力設定 画面の 入力ソース 項目を選択し、入力ソース 画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



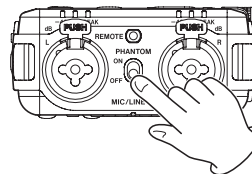
2. 入力ソースを設定します。

選択肢	内容
UNI MIC (初期値)	UNI MIC (内蔵指向性マイク) から入力
OMNI MIC	OMNI MIC (内蔵無指向性マイク) から入力
MIC	MIC/LINE IN端子のXLRから入力
LINE	MIC/LINE IN端子のプラグジャックから入力
EXT MIC	EXT IN端子からマイク入力
EXT LINE	EXT IN端子からライン入力
DIGITAL	DIGITAL IN端子から入力

マイクで使用する電源を設定する

ファントム電源を使う

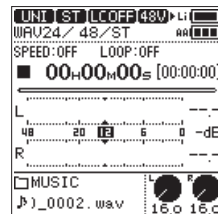
1. 接続するマイクに応じてファントム電源電圧を設定します。(→ 23ページ「ファントム電源の電圧値の設定」)
2. MIC/LINE IN端子にファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを接続し、PHANTOMスイッチを「ON」にします。



3. ファントム電源をオンにする確認のポップアップメッセージを表示します。
ENTER/MARKボタンを押すと、MIC/LINE IN端子にファントム電源が供給されます。
ポップアップメッセージを表示中にPHANTOMスイッチをオフにするとポップアップメッセージが消え、ファントム電源は供給されません。

メモ

- 使用中の電池の残量が少ない状態では、PHANTOMスイッチをオンにしても **電池容量不足** のポップアップメッセージが表示され、ファントム電源は供給されません。
- ファントム電源が供給されている場合は、**48V** または **24V** のアイコンが表示されます。



注意

- ファントム電源をオンにした状態で、MIC/LINE IN端子にマイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、ファントム電源をオンにしてください。ファントム電源を必要としないダイナミックマイクや外部機器などを接続しているときにファントム電源をオンにすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクとダイナミックマイクを合わせて使用する場合は、必ずバランスタイプのダイナミックマイクをご使用ください。アンバランスタイプのダイナミックマイクを混用することはできません。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- コンデンサーマイクによっては、+24V に設定されたファントム電源では動作しないものもあります。
- 電池の持続時間は、使用するマイクによって変わります。詳しくは、マイクの取扱説明書などをご覧ください。

- 電池でファントム電源を使用すると、マイクによっては極端に使用時間が短くなる場合があります。別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）を使用するか、電池で使用する場合は内蔵バッテリーもしくは外付けバッテリーパック（TASCAM BP-6AA）でのご使用をお勧めします。
- ファントム電源使用中は、USB端子に接続されている電源ケーブルの抜き差しを行わないでください。本体に電池を挿入している状態でも電源が切れる可能性があり、録音中のデータが破損または消失してしまふことがあります。
- USBバスパワーで使用する場合、使用されるパソコンによってはファントム電源が供給できない場合があります。

ファントム電源の電圧値の設定

1. 入出力設定 画面の **ファントム電圧** 項目を選択し、**ファントム電圧** 画面を表示します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



2. ファントム電源の供給電源電圧を設定します。

選択肢： +48 V（初期値）、+24 V

メモ

+48V に設定した場合、+24V よりも電池の消耗が早くなります。

プラグインパワーを使う

EXT IN端子に電源の供給が必要な小型のコンデンサーマイク（プラグインパワー型コンデンサーマイク）を接続したとき、プラグインパワーを供給することができます。

1. 入出力設定 画面の **プラグインパワー** 項目を選択します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



2. プラグインパワーのオン/オフを設定します。

選択肢： 切（初期値）、入

注意

ダイナミックマイクや電池内蔵の外部マイクを接続するときは、プラグインパワーをオンにしないでください。プラグインパワーをオンにすると、接続したマイクの故障の原因になる恐れがあります。

ローカットフィルターを設定する

ローカットフィルターを使用すると、空調機やプロジェクターなどによるノイズや耳障りな風切り音などのノイズを低減することができます。

1. 入出力設定 画面の **ローカット** 項目を選択し、**ローカット** 画面を表示します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



2. 入力時のローカットフィルターのカットオフ周波数を設定します。

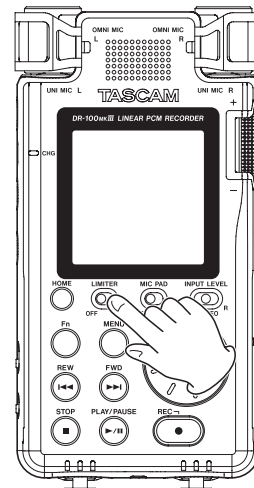
選択肢： 切（初期値）、40 Hz、80 Hz、120 Hz、220 Hz

メモ

録音待機中または録音中に **各種機能** 画面からも設定を変更することができます。この場合は、実際の音をモニターしながら設定することができます。（→ 13ページ「ファンクションメニューリスト」）

リミッターを使う

リミッターを使うと、突発的な過大入力音による歪みを抑えることができます。



メモ

- 入力音が大きすぎるとリミッターをオンにしても歪んでしまう場合があります。その場合は録音レベルを下げるか、音源からマイクを離してください。
- 入力ソースとして「DIGITAL」を選択した場合は、リミッターは無効です。
- リミッターを使用した場合、デュアルADC機能を同時に使用することはできません。（→ 25ページ「録音信号のS/Nを改善する（デュアルADC機能）」）

レベルコントロール機能を使う

マイク入力時のレベルコントロール機能を設定します。

1. 入出力設定 画面の **RECレベル制御** 項目を選択し、**RECレベル制御** 画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



2. 使用するレベルコントロール機能の動作モードを設定します。

選択肢	内容
手動 (初期値)	レベルコントロール機能をオフにします。
オートレベル	入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように録音レベルを自動で調節します。
ピークリダクション	入力音が大きすぎるときに、音が歪まないレベルまで自動で録音レベルを下げる機能です。録音レベルを自動で上げません。録音レベルを上げたいときは、手動で行うことができます。

メモ

- 入力ソースとして「**LINE / EXT LINE / DIGITAL**」のいずれかを選択した場合は、レベルコントロール機能は無効です。
- **オートレベル** を選択したとき、音量は自動的に変化するため、入力レベルノブの操作は無効です。
- **各種機能** 画面の **RECレベル制御** 項目からも設定することができます。(→ 13ページ「ファンクションメニューリスト」)

MSマイクを使う

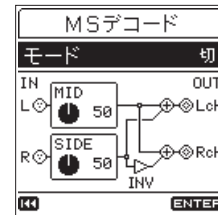
MSデコーダーにより、MSマイクを使用した録音ができます。

1. MSマイクを接続する

MSマイクのMid側を**MIC/LINE IN L**端子に、Side側を**MIC/LINE IN R**端子にそれぞれ接続してください。

2. デコードモードを設定する

入出力設定 画面または **各種機能** 画面の **MSデコード** 項目を選択し、**MSデコード** 画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



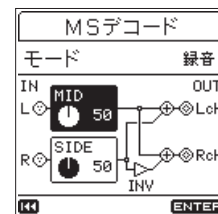
モード 項目を選択し、MSマイク使用時のデコードモードを設定します。



選択肢	内容
切 (初期値)	デコーダーを使用しません。MSマイクを接続した場合は、必ず 録音時 か モニター時 を選択してください。
録音時	デコードされた音を録音するモードです。モニター音もデコードされます。
モニター時	デコードされない生の音を録音します。モニター音はデコードされます。

3. レベルを調節する

MID と **SIDE** のレベルを調節し、音の広がり具合を調節します。調節する項目にカーソルを合わせて**ENTER/MARK**ボタンを押すと、設定を変更することができます。



設定を変更したら、**ENTER/MARK**ボタンを押して確定します。

メモ

各種機能 画面の **MSデコード** 項目からも設定することができます。(→ 13ページ「ファンクションメニューリスト」)

デジタルフィルターの特性を選択する (A/Dフィルター)

A/D変換時のデジタルフィルターの特性を選択することができます。これにより、変換後の音色を変えることができます。

1. 入出力設定 画面の A/Dフィルタ 項目を選択し、A/Dフィルタ画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



2. A/Dフィルターの特性を選択します。

選択肢	内容
FIR1	オーディオ帯域外の信号を急峻にカットするシャープロールオフ特性のFIR型デジタルフィルターを使用。
FIR2	オーディオ帯域外の信号を緩やかにカットするスローロールオフ特性のFIR型デジタルフィルターを使用。
SHORT DELAY1 (初期値)	オーディオ帯域外の信号を急峻にカットするシャープロールオフ特性のSHORT DELAY型デジタルフィルターを使用。
SHORT DELAY2	オーディオ帯域外の信号を緩やかにカットするスローロールオフ特性のSHORT DELAY型デジタルフィルターを使用。

ヒント

FIR型デジタルフィルター

従来より音質に定評のあるフィルターで、濃密で豊かな音の響きと音の切れを両立させた音色が特徴です。

SHORT DELAY型デジタルフィルター

インパルス応答にプリエコーがなく、音の立ち上がりや余韻が自然で、原音に近い音色が特徴です。

録音信号のS/Nを改善する (デュアルADC機能)

デュアルADC機能により、より高いS/N特性を実現し、小さな入力音を録音する場合もノイズを小さく抑えることができます。

1. 入出力設定 画面の デュアルADC 項目を選択します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



2. デュアルADC機能のオン/オフを設定します。

選択肢：切 (初期値)、入

メモ

- 入力ソースとして「DIGITAL」を選択した場合、この機能は無効になります。
- この機能を使用する場合、次の機能を同時に使用することができません。
 - デュアルレベル録音 (→ 28ページ「2種類のレベルで録音する (デュアルレベル録音)」)
 - デュアルフォーマット録音 (→ 28ページ「2種類のフォーマットで録音する (デュアルフォーマット録音)」)
 - リミッター機能 (→ 23ページ「リミッターを使う」)

録音を自動で開始する（オートレック機能）

オートレック機能は、録音を自動で開始させる機能です。その動作は、動作モードによって異なります。

メモ

録音待機中は、RECインジケータが通常録音時より早く点滅します。

ヒント

プリレック機能と組み合わせることにより、音の出だし部分を欠かすことなく録音できます。

LEVELモードで録音する

LEVELモードでは入力信号が設定したレベルを上回ると録音を開始します。また、入力レベルが設定したレベルを下回ったとき、一時停止するか、ファイルインクリメントするかを設定できます。

1. **録音設定** 画面の **オートレック** 項目を選択し、**オートレック** 画面を表示します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



2. **モード** 項目でオートレック機能の動作モードを **レベル** に設定します。



メモ

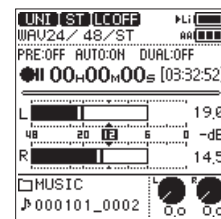
入力ソースとして「DIGITAL」を選択した場合も、**レベル** モードで動作させることは可能です。

3. **終了モード** 項目でオートレック機能の終了後の動作を設定します。入力信号が **終了レベル** を下回り、**終了ディレイ** 時間を経過すると、次のように動作します。

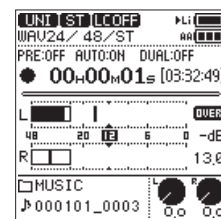
選択肢	内容
待機	一時停止し、再び録音を開始する際、同じファイルに継続して録音
新規（初期値）	一時停止し、再び録音を開始する際、新たなファイルを作成し、録音を継続（ファイルインクリメント）

4. **開始レベル** 項目で、録音を開始するレベルを設定します。入力信号が設定したレベルを上回ると録音を開始します。
選択肢：切、-6 dB、-12 dB（初期値）、-24 dB、-48 dB

5. **終了レベル** 項目で、録音を終了するレベルを設定します。入力信号が設定したレベルを下回ると、**終了ディレイ** 時間の経過を待ちます。
選択肢：切、-6 dB、-12 dB、-24 dB、-48 dB（初期値）
6. **終了ディレイ** 項目で、録音を終了するまでの時間を設定します。時間が経過する前に入力信号が **終了レベル** を上回った場合は録音を継続します。
選択肢：1 秒、2 秒、3 秒、4 秒、5 秒（初期値）
7. **REC [●]** ボタンを押し、録音待機状態にします。待機状態では、メーター上に **開始レベル** ガイドが表示されます。



録音が始まると、メーター上には **終了レベル** ガイドが表示されます。



8. **STOP [■]** ボタンを押すと、録音を終了します。

DIGITALモードで録音する

DIGITALモードでは、基準値（-54dB固定）を上回ると録音を開始します。

1. **録音設定** 画面の **オートレック** 項目を選択し、**オートレック** 画面を表示します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



2. **モード** 項目でオートレック機能の動作モードを **デジタル** に設定します。



- REC [●] ボタンを押し、録音待機状態にします。
DIGITALモードでは、基準値（-54dB固定）を上回ると録音を開始します。また、録音開始後にデジタル入力（CD / MD）のトラックの区切りを検出し、自動でファイルインクリメントします。
- STOP [■] ボタンを押すと、録音を終了します。

録音開始の少し前から録音する (プリレック機能)

録音待機中に入力される信号を最大2秒間録音しておき、録音開始時に最大2秒前からの信号を録音することができます（プリレック機能）。

- 録音設定 画面の **プリレック** 項目を選択します。（→ 10 ページ「メニューの基本的な操作方法」）



- プリレック機能のオン/オフを設定します。

選択肢：切（初期値）、入

ヒント

オートレック機能と組み合わせることにより、出音の部分を欠かすことなく録音できます。

メモ

録音待機状態になってから2秒以内に録音を開始した場合は、録音待機状態にした時点からの録音となります。

録音中にファイルを切り換えて録音を続ける (ファイルインクリメント機能)

録音中に手動または設定した時間が経過したときに自動的に現在のファイルへの録音を終了し、新しいファイルに録音を継続することができます（ファイルインクリメント機能）。

メモ

- 新しいファイルが作成されると、ファイル名の末尾の数字が繰り上がります。
- 新たに作成するファイルのファイル名がすでに存在する場合は、さらに数字が繰り上がります。
- フォルダーとファイルの総数が5000個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。

録音中に手動でファイルを分割する

録音中に▶▶ボタンを押すと、ファイルを分割し、録音を継続することができます。

メモ

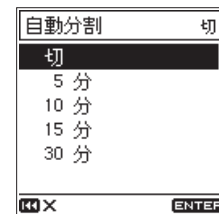
録音時間が2秒以内（サンプリング周波数が88.2kHz以上の場合は4秒以内）のファイルを作成することはできません。

一定時間間隔で自動的にファイルを分割する

録音中に、録音設定 画面の **自動分割** 項目で設定した時間が経過すると、自動的に現在のファイルへの録音を終了し、新しいファイルに録音を継続します。

以下の手順で録音中に自動でファイルを分割する時間の設定を行います。

- 録音設定 画面の **自動分割** 項目を選択し、**自動分割** 画面を表示します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



- 自動でファイルを分割する時間を設定します。

選択肢：切（初期値）、5 分、10 分、15 分、30 分

同時に2つのファイルに録音する (デュアル録音機能)

2種類のレベルで録音する (デュアルレベル録音)

できる限り高いレベルで録音レベルを設定することが高音質録音において重要ですが、録音レベルが高すぎても歪んでしまいます。この不安を解決するため、デュアルレベル録音は設定した録音レベルに対して12dB低いレベルの録音を同時に行うことが可能です。高い録音レベルを設定しながらも、歪みに対して、低いレベルによるバックアップ録音ができます。内蔵マイクだけでなく外部マイクに対しても使うことができます。

メモ

- デュアルレベル録音は、サンプリング周波数176.4k/192kHzのときは使用できません。
- 入力ソースとして「DIGITAL」を選択した場合は、無効となります。
- デュアルADC機能は、同時に使用することができません。
- リミッターをオンにした場合は、バックアップ側にはリミッターは機能しません。

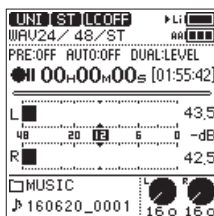
1. 録音設定画面の **デュアル** 項目を選択し、**デュアル** 画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



2. デュアル録音時の録音モードを **レベル** に設定します。



3. **REC [●]** ボタンを押して、録音待機状態にします。ホーム画面の各種録音機能状態表示の **DUAL** に **LEVEL** と表示されます。



4. 再び、**REC [●]** ボタンを押すと、デュアル録音を開始します。

2種類のフォーマットで録音する (デュアルフォーマット録音)

異なる2つのフォーマット (WAVとMP3) で1つの録音を同時に行い、2個のファイルを作成することができます。

メモ

- デュアルフォーマット録音時は、**フォーマット** 項目を **WAV16** に設定してください。
- デュアルフォーマット録音は、サンプリング周波数 88.2k/96k/176.4k/192kHzのときは使用できません。
- デュアルADC機能は、同時に使用することができません。
- リミッターをオンにした場合は、両方のファイルに機能します。

1. 録音設定画面の **デュアル** 項目を選択し、**デュアル** 画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



2. デュアル録音時の録音モードを **フォーマット** に設定します。

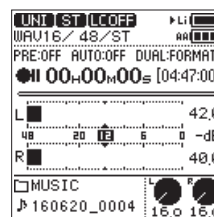


3. **フォーマット** 項目を選択し、デュアル録音するMP3のフォーマットを設定します。



選択肢: MP3 320 kbps (初期値)、MP3 256 kbps、MP3 192 kbps、MP3 128 kbps

4. **REC [●]** ボタンを押して、録音待機状態にします。ホーム画面の各種録音機能状態表示の **DUAL** に **FORMAT** と表示されます。



デュアル録音時のバックアップファイル名

デュアル録音で作成されるバックアップファイルのファイル名は、「_D」が追加された名前になります。
デュアルフォーマット録音時は、拡張子が「.WAV」が「.mp3」になります。

TASCAM_0002.WAV

①

TASCAM_0002_D.WAV

① ②

TASCAM_0002_D.mp3

① ② ③

- ①：録音ファイル番号
- ②：D → デュアル録音
- ③：.mp3 → デュアルフォーマット録音時の拡張子

オートトーン機能を使う

オートトーン機能は、録音開始時や録音終了時に自動的にトーン信号（周波数1kHzの正弦波）を挿入する機能です。

LINE OUT端子とデジタル一眼レフカメラの音声入力端子に接続すると、同じトーン信号がお互いのファイルに記録されるので、動画編集ソフトで位置合わせの際に目安にすることができます。

デジタル一眼レフカメラとの接続方法の詳細については、19ページ「カメラと接続する」をご参照ください。

1. 録音設定 画面の オートトーン 項目を選択し、オートトーン画面を表示します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



2. モード 項目を選択し、トーン信号を挿入する位置を設定します。
 選択肢：切（初期値）、録音開始時（録音開始時のみ）、
 開始+終了（録音開始時と終了時）
3. レベル 項目を選択し、トーン音量を設定します。
 選択肢：-12 dB、-18 dB（初期値）、-24 dB、-30 dB、-36 dB

メモ

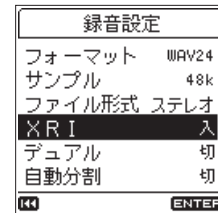
開始+終了 を選択していても、録音中に一時停止すると終了時にトーン信号は挿入されません。

XRIデータ記録機能をオン／オフするには

ファイル形式が「WAV」で録音する際に、XRIデータ記録機能をオンにすると、録音したときの録音設定情報をXRIデータとして記録することができます。

工場出荷時、XRIデータ記録機能の設定はオンに設定されています。XRIデータ記録機能の設定をオフにするには、録音設定 画面の HRI 項目をオフにしてください。

1. 録音設定 画面の HRI 項目を選択します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



2. XRIデータ記録機能のオン／オフを設定します。

選択肢：切、入（初期値）

メモ

XRIデータを確認したり、消去することができます。（→ 43ページ「XRIデータ情報ページ」）

第4章 録音

録音時間について

各ファイルフォーマットにおける、SD / SDHC / SDXCカード容量別の録音時間を以下の表に示します。

ファイルフォーマット (録音時の設定)			SD / SDHC / SDXCカード容量		
			4GB	8GB	32GB
WAV (BWF) 16ビット (STEREO)		44.1kHz	6時間17分	12時間35分	50時間23分
		48kHz	5時間47分	11時間34分	46時間17分
		88.2kHz	3時間08分	6時間17分	25時間11分
		96kHz	2時間53分	5時間47分	23時間08分
		176.4kHz	1時間34分	3時間08分	12時間35分
		192kHz	1時間26分	2時間33分	11時間34分
WAV (BWF) 24ビット (STEREO)		44.1kHz	4時間11分	8時間23分	33時間35分
		48kHz	3時間51分	7時間42分	30時間51分
		88.2kHz	2時間05分	4時間11分	16時間47分
		96kHz	1時間55分	3時間51分	15時間25分
		176.4kHz	1時間02分	2時間05分	8時間23分
		192kHz	57分	1時間55分	7時間42分
MP3 (STEREO / MONO)	128kbps	44.1kHz / 48kHz	69時間26分	138時間	555時間
	192kbps	44.1kHz / 48kHz	46時間17分	92時間35分	370時間
	256kbps	44.1kHz / 48kHz	34時間43分	69時間26分	277時間
	320kbps	44.1kHz / 48kHz	27時間46分	55時間33分	222時間

- 上記録音時間は目安です。ご使用のSD / SDHC / SDXCカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、SD / SDHC / SDXCカードに可能な録音合計時間です。
- 録音時間が24時間を超える場合は、自動的に新しいファイルを作成し、録音を継続します。
- WAV形式のMONO録音の場合は、上記録音時間の約2倍の時間となります。
- WAV / BWF形式のデュアル録音の場合は、上記録音時間の約半分の時間となります。

再生する

ホーム画面で停止中／一時停止中にPLAY/PAUSE [▶/⏸] ボタンを押すと、再生を始めます。

一時停止する

ホーム画面で再生中にPLAY/PAUSE [▶/⏸] ボタンまたはSTOP [■] ボタンを押すと、一時停止します。再度、PLAY/PAUSE [▶/⏸] ボタンを押すと、再生を続けます。

停止する

ホーム画面で一時停止中にSTOP [■] ボタンを押すと、ファイルの先頭に戻ります。

早戻し／早送りをする（サーチ）

ホーム画面で停止中または再生中に◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押し続けると、早戻し／早送りサーチ再生を行います。ボタンから手を離すと、停止または再生を続けます。

メモ

◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押し続けると、サーチスピードが加速します。

再生位置を移動する

ホーム画面で停止中／一時停止中または再生中にホイールを回して、再生位置を移動することができます。ホイールを停止すると、停止または再生を続けます。

再生するファイルを選択する（スキップ）

ホーム画面で、◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押して、再生したいファイルを選択します。ファイルの途中で◀◀ボタンを押すとファイルの先頭へ戻り、ファイルの先頭で◀◀ボタンを押すと、1つ前のファイルの先頭にスキップします。ファイルの先頭、または途中で▶▶ボタンを押すと、次のファイルへスキップします。

メモ

再生するファイルは、ブラウズ画面でも選択できます。（→ 34ページ「第6章 ファイルやフォルダーの操作」）

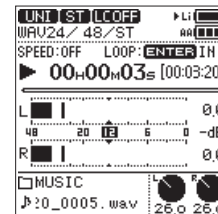
繰り返し再生する（ループ再生）

1つのファイル内の2点間を繰り返し再生（ループ再生）することができます。

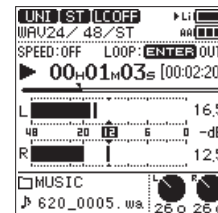
1. Fnボタンを押して 各種機能 画面を表示し、ループ再生 項目を選択します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



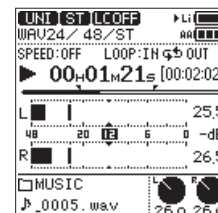
2. ループ再生機能をオンにします。
選択肢：切（初期値）、入
3. ホーム画面に戻ると、ループ再生モードになります。ループ再生状態表示部に ENTER IN と表示されます。



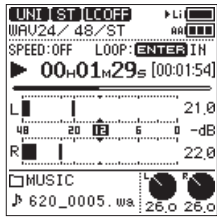
4. 再生中または一時停止中にENTER/MARKボタンを押すと、IN点（始点）が設定されます。



5. 次にENTER/MARKボタンを押すと、OUT点（終点）が設定され、ループ再生を開始します。



6. 再度、ENTER/MARKボタンを押すと、IN点（始点）とOUT点（終点）はクリアされます。



メモ

- ループ再生モード中、マーク機能は無効になります。
- IN点、OUT点の両方が設定されていない場合、ファイルの先頭から最後までを繰り返す1曲ループ再生モードになります。
- 複数のファイルにまたがってIN点（始点）、OUT点（終点）の設定はできません。
- 違うファイルを選択した場合は、IN点（始点）、OUT点（終点）の設定がクリアされます。

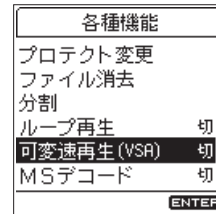
速度を変えて再生する（VSA再生）

本機では、VSA再生機能（Variable Speed Audition）が搭載されており、再生音の音程を保ったまま再生速度を変えることができます。

注意

サンプリング周波数88.2k/96k/176.4k/192kHzで録音されたファイルを選択しているときは、VSA再生機能は無効になります。ただし、このときも再生速度の変更は行うことができます。

1. Fnボタンを押して、各種機能画面を表示し、可変速再生（VSA）項目を選択します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



2. ENTER/MARKボタンを押して、可変速再生（VSA）画面を表示します。



3. VSA項目でVSA機能をオンにします。
選択肢：切（初期値）、入
4. スピード項目で再生速度を設定します。
選択肢：×0.5 ～ ×2.0（初期値：×1.0、×0.1 刻み）

第6章 ファイルやフォルダーの操作

本機は、SDカード上の MUSIC フォルダ内にあるオーディオファイルをフォルダ構造で管理することができます。

ブラウズ画面からはフォルダまたはファイルを選択し、再生や消去などを行うことができます。

また、選択されているファイルに対しては、ファンクションメニューからプロテクト（保護）設定や消去などを行うことができます。

メモ

- 本機とパソコンをUSB接続するか、あるいはSDカードを直接パソコンにセットすることにより、パソコンを使用して MUSIC フォルダ内のフォルダ構成やファイル名の編集も可能です。
- パソコンでフォルダ構成やファイル名の編集を行った場合には、本機での再生順が変わる場合があります。

ブラウズ画面を開く

ブラウズ画面を表示するには、メニュー画面のファイルブラウザ項目を選択しENTER/MARKボタンを押します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



このとき、現在選択されているファイルを含むフォルダが表示されます。

ブラウズ画面内のアイコンについて

以下にブラウズ画面内のアイコン表示内容を説明します。

MUSICフォルダ (R)

最上階のフォルダです。

オーディオファイル (🎵/🔒)

オーディオファイルです。

🎵：プロテクトされていないオーディオファイルです。

🔒：プロテクトされているオーディオファイルです。

フォルダ (📁)

内部にフォルダが存在するフォルダです。

フォルダ (□)

内部にフォルダが存在しないフォルダです。

表示中のフォルダ (📁)

現在、このフォルダの内容を画面表示しています。

新しいフォルダ (N)

新しいフォルダを作成します。

ブラウズ画面内の基本操作

ブラウズ画面には、パソコンにおけるファイルのリスト表示のように、フォルダやオーディオファイルがリスト表示されます。

フォルダは、第2階層まで作成できます。

ファイルを選択する

1. ホイールを回して任意のファイルにカーソルを合わせます。
2. ENTER/MARKボタンを押すと、そのファイルが選択され、ホーム画面に戻ります。
3. PLAY/PAUSE [▶/⏸] ボタンを押すと、そのファイルが選択され、ホーム画面に戻り、再生を開始します。

フォルダを選択する

1. ホイールを回して任意のフォルダにカーソルを合わせます。
2. ENTER/MARKボタンを押すと、そのフォルダが選択され、ホーム画面に戻ります。

フォルダを開く

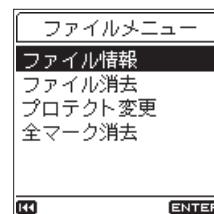
ホイールを回して任意のフォルダにカーソルを合わせ、▶▶ボタンを押すと、そのフォルダが開かれます。

フォルダを閉じる

任意の位置で◀◀ボタンを押すと、そのフォルダが閉じられ、1階層上のフォルダ内部が表示されます。

ファイル操作

ブラウズ画面内の任意のファイルを選択し、Fnボタンを押してファイルメニュー画面を表示します。

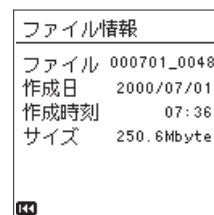


選択したファイルに対し、以下のような機能を実行することができます。

ファイル情報

選択したファイルの情報（日付、サイズ）を表示します。

ファイル情報項目を実行するとファイル情報画面が表示されます。



ファイル情報画面表示中に◀◀ボタンを押すと、ブラウズ画面に戻ります。

第6章 ファイルやフォルダーの操作

ファイル消去

選択したファイルを消去します。

ファイル消去 項目を実行すると確認画面が表示されます。



実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。

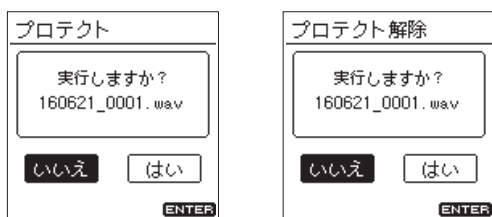
メモ

ホーム画面でFnボタンを押して表示される **各種機能** 画面からもファイルを消去することができます。(→ 35ページ「ファイルを消去する」)

プロテクト変更


選択したファイルをプロテクト（保護）する、またはプロテクトを解除します。

プロテクト変更 項目を実行すると確認画面が表示されます。



実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。

メモ

- プロテクトされたファイルは、ホーム画面またはブラウズ画面のファイル名の先頭に  アイコンが表示されます。
- ホーム画面でFnボタンを押して表示される **各種機能** 画面からもファイルをプロテクトする、またはプロテクトを解除することができます。(→ 35ページ「ファイルをプロテクトする」)

全マーク消去

選択したファイルに付いている全てのマークを消去します。

全マーク消去 項目を実行すると確認画面が表示されます。



実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。

フォルダー操作

ブラウズ画面内の任意のフォルダーを選択し、Fnボタンを押して **フォルダメニュー** 画面を表示します。



選択したフォルダーに対し、以下のような機能を実行することができます。

全ファイル消去

選択したフォルダー内のファイルを一括で消去します。

全ファイル消去 項目を実行すると確認画面が表示されます。



実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。

メモ

- 書き込み禁止ファイルや本機で認識されていないファイルは、消去できません。
- 選択されたフォルダーの別階層にあるファイルは、消去されません。

フォルダ消去

選択した空フォルダーを消去します。

フォルダ消去 項目を実行すると確認画面が表示されます。



実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。

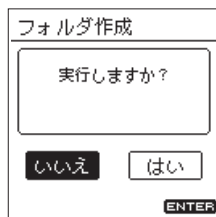
新しいフォルダーを作成する

ブラウズ画面で新しいフォルダーを作成することができます。

1. フォルダー内でカーソルを一番下の **新しいフォルダ** に移動し、**ENTER/MARK**を押します。



2. **新しいフォルダ** を選択し、**ENTER/MARK**ボタンを押すと確認画面が表示されます。



3. 実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、**ENTER/MARK**ボタンを押します。
新しいフォルダーを作成し、ホーム画面に戻ります。

メモ

本機では3階層以上のフォルダーを扱うことはできないため、第2階層のフォルダーには **新しいフォルダ** は表示されません。

ファイルをプロテクトする

ホーム画面で選択されているファイルをプロテクトする、またはプロテクトを解除することができます。

1. ホーム画面で停止中にFnボタンを押して、**各種機能** 画面を表示します。
2. **プロテクト変更** 項目を選択し、**ENTER/MARK**ボタンを押すと確認画面が表示されます。



3. 実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、**ENTER/MARK**ボタンを押します。

メモ

プロテクトの状態は、ホーム画面またはブラウズ画面のファイル名の先頭に **🔒** アイコンが表示されます。

ファイルを消去する

ホーム画面で選択されているファイルを消去することができます。

1. ホーム画面で停止中にFnボタンを押して、**各種機能** 画面を表示します。
2. **ファイル消去** 項目を選択し、**ENTER/MARK**ボタンを押すと確認画面が表示されます。



3. 実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、**ENTER/MARK**ボタンを押します。

ファイルを分割する

録音したファイルを手動で、またはマークを付けた位置でファイルを分割することができます。

注意

- MP3ファイルは、分割できません。
- SDカードの残容量が少ない場合は、分割できないことがあります。
- ファイル名が200文字を超える場合は、分割できません。
- 分割後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は、分割できません。
- 分割を行うと、元のファイルは残りません。

手動で分割する（ファイル分割機能）

録音したファイルを任意の位置で、2つのファイルに分割することができます。

1. ホーム画面で停止中／一時停止中にFnボタンを押して **各種機能** 画面を表示します。
2. **分割** 項目を選択し、ENTER/MARKボタンを押し、**分割** 画面を表示します。

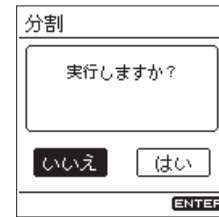


3. **分割** 項目を選択し、ENTER/MARKボタンを押すと **分割** 画面を表示します。



4. 分割する位置を決定します。
このとき、ホイールやマークスキップで移動する、または再生して音を聴きながら位置を探ることができます。

5. 分割する位置を決定し、ENTER/MARKボタンを押すと確認画面が表示されます。



6. 実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。

メモ

分割すると、ファイル名の末尾に「a」または「b」が付加されたファイルが作成されます。

(例)

分割前のファイル名

160531_0003.wav

分割後のファイル名

160531_0003_a.wav (分割点より前の部分)

160531_0003_b.wav (分割点より後の部分)

ヒント

あらかじめ分割したい位置にマークを付けておくこと探しやすいになります。(→ 39ページ「マークを付ける」)

マーク位置で分割する（マーク分割機能）

マークが付けられている位置で分割することができます。（→ 39ページ「マークを付ける」）

1. ホーム画面で停止中／一時停止中にFnボタンを押して **各種機能** 画面を表示します。
2. **分割** 項目を選択し、**ENTER/MARK**ボタンを押すと **分割** 画面を表示します。



3. **マーク分割** 項目を選択し、**ENTER/MARK**ボタンを押すと確認画面が表示されます。



4. 実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、**ENTER/MARK**ボタンを押します。

メモ

- 「MARK / LEVEL / TIME」以外のマークでは分割されません。（→ 39ページ「マークの種類」）
- ファイルにマークがない場合は、**マークが無い為、分割できません** という確認メッセージが表示されます。
- 分割すると、ファイル名の末尾に「_01 / _02 / _03」のように順番に数字が付加されたファイルが作成されます。

（例）マークが2箇所

分割前のファイル名
160531_0003.wav

分割後のファイル名
160531_0003_01.wav
160531_0003_02.wav
160531_0003_03.wav

- オートマーク機能と併用することで、長時間録音されたファイルを自動で曲ごとに分割することができます。（→ 39ページ「マークを付ける」）

注意

マーク間隔が2秒以下の部分が存在する場合、マーク分割できません。

ファイル名の形式を設定する

本機で録音するファイルの名前の形式を設定することができます。ファイル名は、名前の部分と番号の部分とで構成されています。

TASCAM_0001.WAV
① ②

- ①：ファイル名
- ②：ファイル番号

1. システム設定 画面の **ファイル名形式** 項目を選択し、**ファイル名形式** 画面を表示します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



2. **タイプ** 項目を選択し、ファイル名の形式を設定します。



選択肢	内容
日付（初期値）	日時をファイル名に付けます。 （例）160530_0001.wav
ワード	ワードで設定した6文字をファイル名に付けます。 （例）TASCAM_0001.wav

メモ

日時を選択した場合、本体内時計の日時を基にファイル名が付けられます。あらかじめ時計を合わせておくと、録音日時を正確に記録できます。（→ 17ページ「日時を設定する」）

文字 (WORD) の設定

1. タイプ 画面で ワード 項目を設定すると、ファイル名形式 画面に 編集 項目が表示されます。



2. 編集 項目を選択し、編集 画面を表示します。



3. ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンでカーソルを移動し、ホイールを回して文字を設定します。
文字は、英数のほかに、記号「! # \$ % & ' () + , - . : = @ [\ ^ _ ` { | } ~ 」が使用可能です。
4. 文字列の設定が終了したら、ENTER/MARK ボタンを押して確定します。

ファイル番号の初期化

録音したオーディオファイルには、ファイル名に番号が付いています。この番号は記録した順番に付けられますが、初期設定ではファイル番号を初期化しない設定 (切) になっています。オフの場合、カードを入れ換えたりフォーマットした場合も番号が引き継がれるため、ファイルの管理がしやすくなります。また、設定をオンにする、あるいはリセットすることで、ファイル番号を振り直すこともできます。

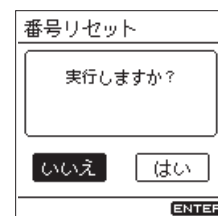
1. システム設定 画面の 番号リセット 項目を選択し、番号リセット 画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



2. ファイル番号のリセット機能を設定します。

選択肢	内容
切 (初期値)	ファイル番号をリセットしない。
入	フォーマット時/新規フォルダー作成/フォルダー内全ファイル消去時に自動的ファイル番号をリセットする
リセット	次のファイル作成時よりファイル番号をリセットする

3. リセット 項目を選択した場合には、確認画面が表示されます。



4. 実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、ENTER/MARK ボタンを押します。

マークは、再生時の頭出しや分割ポイントの目安として利用することができます。また、マークには手動で付けるだけでなく、入力信号のレベルや一定時間間隔に自動で付けることもできます。

マークの種類

マークの種類とそのマークが付けられる条件は、次の通りです。

マーク名	条件
MARK	手動またはデジタル入力のトラックの区切りを検出したとき
LEVEL	入力信号が指定したレベルを超えたとき
TIME	設定した録音時間を経過したとき
PEAK	入力信号がピークレベルを超えたとき
DIN ERR	デジタル入力の同期外れまたは再び同期したとき
BOF	録音中にSDカードへの書き込みエラー発生時 (BOF : Buffer Overflow)

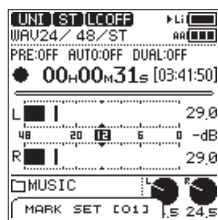
メモ

- マークは、ファイルごとに最大99個付けることができ、ファイルにマークの情報を記録します。
- WAVファイルに付けたマークは、BWF対応ソフトなどで、このマーク情報を使用することができます。
- MP3ファイルに付けたマークは、本機でのみ使用できます。
- プロテクトされているファイルは、マークを付けることはできません。プロテクト解除してから操作してください。

マークを付ける

手動でマークを付ける

録音待機中または録音中、再生中にENTER/MARKボタンを押すと、任意の位置にマークを付けることができます。マークを付けるとディスプレイの下部にプルアップ表示されます。



- マーク名の [xx] は、全マークに共通の通し番号が付きます。
- 再生中に付けたマークは、再生を停止したときに保存されます。停止せずに◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押した場合は、マークを保存してからファイルスキップします。
- 内蔵マイク使用時にマークを付けるとボタンを押す音が録音される場合があります。この場合は、リモコンをご使用ください。

自動でマークを付ける

オートマーク機能により、録音中に自動でマークを追加することができます。

1. マーク設定画面のオートマーク項目を選択し、オートマーク画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



2. モード項目を選択し、オートマーク機能の動作モードを設定します。



選択肢：切 (初期値)、レベル、時間、デジタル入力

3. オートマーク機能の動作モードのうち、レベルまたは時間に設定した場合には、以下を設定します。
 - レベル
入力信号のレベルが設定したレベルを超えると、自動でマークが付きます。
選択肢：-6 dB、-12 dB (初期値)、-24 dB、-48 dB
 - 時間
録音中に設定した時間が経過すると、自動でマークが付きます。
選択肢：5 分、10 分、15 分、30 分、60 分 (初期値)

メモ

LEVELマークが付けられると、そこから10秒間は新たなLEVELマークは付きません。

ピークレベル時にマークを付ける

録音時に入力信号がピークレベルを超えたときに自動でマークを付けることができます。録音終了後にピークレベルを超えた部分を探すために利用できます。

1. マーク設定 画面の **ピークマーク** 項目を選択します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



2. ピークマーク機能のオン/オフを設定します。

選択肢：切 (初期値)、入

メモ

- ピークレベルを超えた2秒手前の位置にマークを付けます。
- ピークマークが付けられると、そこから10秒間は新たなピークマークは付きません。

マークの位置へ移動する (マークスキップ)

停止中/一時停止中/再生中に、**ENTER/MARK**ボタンを押しながら **◀◀**ボタンまたは **▶▶**ボタンを押すと、手前または次のマークの位置へ移動 (スキップ) することができます。スキップすると、ディスプレイの下部にマーク名がプルアップ表示されます。

マークの種類が複数あるため、マークスキップの際に、どのマークへスキップするか選択することができます。

メモ

異なるファイルのマークへの移動はできません。

1. マーク設定 画面の **スキップ対象** 項目を選択し、**スキップ対象** 画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



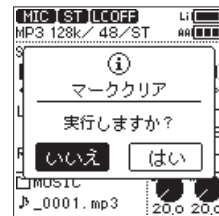
2. マークスキップモードを設定します。

選択肢：全て (初期値)、MARK、LEVEL、TIME、PEAK、DIN ERR、BOF

マークを消去する

本機にて付けたマークは、停止中/一時停止中に消去することができます。

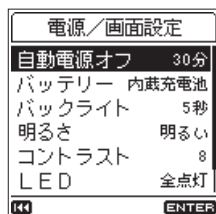
1. 停止中/一時停止中に消去したいマーク位置へスキップします。(→ 40ページ「マークの位置へ移動する (マークスキップ)」)
2. **ENTER/MARK**ボタンを押すと、確認画面が表示されます。



3. 実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、**ENTER/MARK**ボタンを押します。

電源／ディスプレイの設定

本機の電源やディスプレイの設定を、**電源／画面設定** 画面で行います。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



電源のオートパワーセーブ機能の設定

電源自動オフ 項目を選択し、最後に動作あるいは操作してから自動的に電源がオフ（スタンバイ状態）になるまでの時間を設定します。

選択肢：無効（自動オフしない）、3 分、5 分、10 分、30 分（初期値）

優先して使用する電池を設定する

本機に単3形電池を挿入した場合、内蔵バッテリーと単3形電池のどちら電池を優先して使用するかを設定します。一方を主電池、もう一方を予備電池とし、主電池が規定の残量を下回ったとき、自動的に予備電池に切り換わり、動作を継続させることができます。

1. **バッテリー** 項目を選択し、**バッテリー** 画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



2. **優先使用** 項目を選択し、優先して使用する電池を設定します。



選択肢	内容
内蔵充電電池（初期値）	内蔵バッテリーを優先的に使用する
単3電池	単3形電池を優先的に使用する

注意

予備電池も規定の残量を下回っている場合は、電源が切れます。

メモ

- ホーム画面上には、電池供給の状態表示部に現在使用中の電池アイコンの右側に ▶ マークがつきます。
- 予備電池に切り換わったあとに主電池が復活した場合、自動的に主電池に切り換わります。
- 単3形電池で動作中に外部電源を接続した場合、外部電源に切り換わり充電しながら動作を続けます。

単3形電池の種類を設定する

使用する単3形電池の種類を設定します。この設定は、単3形電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別を行います。

1. **バッテリー** 項目を選択し、**バッテリー** 画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)
2. **単3タイプ** 項目を選択し、使用する単3形電池の種類を設定します。



選択肢：ALKAL（アルカリ乾電池、初期値）、Ni-MH（ニッケル水素電池）、LITHIUM（リチウム乾電池）

バックライトの設定

バックライト 項目を選択し、電池供給のときに最後に操作してから自動的にバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

選択肢：切（常時点灯）、5 秒（初期値）、10 秒、15 秒、30 秒、常時点灯

ヒント

切 または 常時点灯 に設定していても、ホーム画面でHOMEボタンを押し続けると、バックライトを点灯または消灯させることができます。

バックライトの輝度調節

明るさ 項目を選択し、バックライトの輝度を調節します。

選択肢：明るい（初期値）、標準、暗い

ディスプレイのコントラスト調節

コントラスト 項目を選択し、ディスプレイのコントラストを調節します。

選択肢：1 ~ 20（初期値：8）

インジケータの消灯設定

LED 項目を選択し、レベルインジケータやRECインジケータを消す設定をします。

選択肢：標準（初期値）、レベル消灯、全消灯

ピークレベル機能の設定

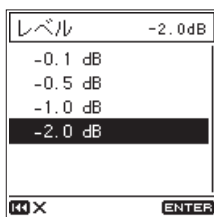
ピークレベル値の設定

ピークレベルを超えた時に表示する **OVER** アイコンとレベルインジケータの「PEAK」が点灯する値を設定します。

1. **ピークレベル** 項目を選択し、**ピークレベル** 画面を表示します。
(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



2. **レベル** 項目を選択し、ピークレベル値を設定します。



選択肢：-0.1 dB、-0.5 dB、-1.0 dB、-2.0 dB (初期値)

ピークホールド表示の設定

レベルメーターのピークホールド時間を設定します。

1. **ピークレベル** 項目を選択し、**ピークレベル** 画面を表示します。
(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)
2. **ピークホールド** 項目を選択し、レベルメーターのピークホールド時間を設定します。



選択肢：オフ、1 秒 (初期値)、∞ (常にホールド)

ホールドされたピークをクリアするには

ピークレベルの **ピークホールド** 画面で ∞ 項目を選択した場合は、クリアするまでピークがホールドされます。ホールドされたピークは、ホーム画面でFnボタンを押し続けることでクリアすることができます。

情報を見る

インフォメーション画面で、本機の各種情報を見ることができます。以下の手順でインフォメーション画面を表示します。

1. **システム設定** 画面の **情報表示** 項目を選択し、インフォメーション画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



インフォメーション画面は4ページあり、**ファイル** ページが表示されます。

2. ホイールを回して、表示するページを切り換えます。

ファイル ページ

現在ロードされているオーディオファイルの情報を表示

カード ページ

挿入しているSDカードの使用状況を表示

ファームウェア ページ

本機のシステムファームウェアバージョンを表示

XRI ページ

WAV (BWF) ファイルに記録したXRIデータを表示します。

ファイル情報ページ

ファイル ページでは、現在ロードされているオーディオファイルの情報を表示します。



ファイル

ファイル名を表示します。

記録形式

オーディオファイルの形式を表示します。

WAVファイルの場合は、ビット長、サンプリング周波数 (Hz) を表示します。

MP3ファイルの場合は、ビットレート (kbps)、サンプリング周波数 (Hz) を表示します。

チャンネル

ステレオ/モノラルを表示します。

作成日

ファイルの日付を表示します。

作成時刻

ファイルの作成時刻を表示します。

サイズ

ファイルサイズを表示します。

メモ

各種機能 画面の **ファイル情報** 項目からも確認することができます。(→ 13ページ「ファンクションメニューリスト」)

カード情報ページ

カード ページでは、挿入しているSDカードの使用状況を表示します。

カード	
ファイル数	10
フォルダ数	2
容量	3.76
使用容量	167.8M
残り容量	3.56

ファイル数

MUSICフォルダー内にある再生可能なファイル数を表示します。

フォルダ数

MUSICフォルダー内にあるフォルダ数を表示します。

容量

SDカードの総メモリー容量を表示します。

使用容量

SDカードの使用量を表示します。

残り容量

SDカードの残容量を表示します。

ファームウェア情報ページ

ファームウェア ページでは、ファームウェアバージョンを表示します。

ファームウェア	
バージョン	1.00 0048

バージョン

本機のシステムファームウェアのバージョン情報を表示します。

XRIデータ情報ページ

HRI ページでは、WAV (BWF) ファイルに記録したXRI (eXtended Recording Information、入力ボリュームなどの録音設定情報) データを表示します。

XRI	
メーカー	TASCAM
モデル名	DR-100mk3
FW VER	1.00
入力ソース	UNI MIC
レベル	L/R:0.0
ローカット	切

XRI	
LIMITER	切
レベル制御	手動
PAD SW	切
A/Dフィルタ	SDL1

メモ

各種機能 画面の **ファイル情報** 項目からも確認することができます。(→ 13ページ「ファンクションメニューリスト」)

XRIデータを消去するには

1. HRI ページを表示中にFnボタンを押して、XRIメニューを表示します。

XRI	
XRI消去	

2. XRI消去 が選択されているのでENTER/MARKボタンを押すと、確認画面が表示されます。

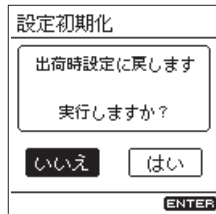
XRI	
XRIデータを消去します 実行しますか？	
いいえ	はい

3. 実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。

出荷時の設定に戻す

各種設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. システム設定 画面の **設定初期化** 項目を選択し、**ENTER/MARK** ボタンを押すと確認画面が表示されます。(→ 10 ページ「メニューの基本的な操作方法」)



2. 実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、**ENTER/MARK** ボタンを押します。

メモ

イニシャライズを実行しても、日時設定と言語設定は初期化されません。

SDカードをフォーマットする

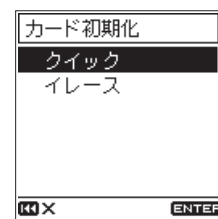
フォーマットするとSDカードの全てのデータが消去されます。大切な録音内容をパソコンなどにバックアップしてからフォーマットを実行してください。

フォーマットを行うと、「**MUSIC**」フォルダー、「**UTILITY**」フォルダーおよび「**dr-1.sys**」が自動生成されます。

注意

フォーマットの実行は、別売のACアダプター (TASCAM PS-P520E) を使用するか、内蔵バッテリーまたは電池の残量が十分な状態で行ってください。フォーマット中に電源がオフ (スタンバイ状態) になると、正常なフォーマットができません。

1. システム設定 画面の **カード初期化** 項目を選択し、**カード初期化** 画面を表示します。(→ 10 ページ「メニューの基本的な操作方法」)



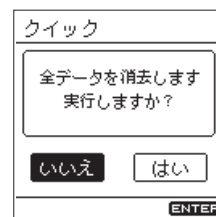
2. フォーマット方法を選択します。

選択肢	内容
クイック (初期値)	クイックフォーマットを実行します
イレース	イレースフォーマットを実行します

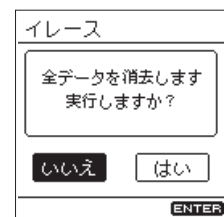
メモ

- イレースフォーマットを実行すると、繰り返し使用で書き込み性能が劣化したSDカードを復活させる可能性があります。録音中に **書き込みエラー 録音継続します** または **カード速度低下 B0Fマーク要確認** というメッセージが表示された場合は、イレースフォーマットを実行してください。
- イレースフォーマットは、メモリーのエラーをチェックしながらフォーマットを実行するため、クイックフォーマットと比べて多くの時間がかかります。

3. **ENTER/MARK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。



[クイック 選択時]



[イレース 選択時]

4. 実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、**ENTER/MARK** ボタンを押します。

パワーオンロック機能

本機が電源オフ（スタンバイ状態）のときにREC [●] ボタンを押しながら電源ボタンを押し続けると、起動するとともに録音を開始します。

起動後は、通常の動作と変わりありません。

出力をアッテネートする

ライン出力レベルを制限する

本機のライン出力をカメラに入力する場合、出力レベルを30dBアッテネート（減衰）することができます。

1. 入出力設定 画面の 出力アッテネータ 項目を選択し、出力アッテネータ 画面を表示します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



2. ライン 項目を選択し、LINE OUT端子への出力レベルを設定します。



選択肢：0 dB（初期値）、-30 dB

ヘッドホン出力レベルを制限する

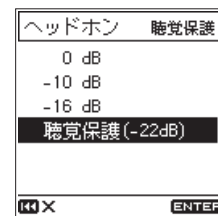
ヘッドホンにより音の大きさが異なる場合があります。

お使いになるヘッドホンに合わせて設定してください。なお、聴覚保護のため、初期設定（聴覚保護（-22dB））では低めのレベルに設定されています。

1. 入出力設定 画面の 出力アッテネータ 項目を選択し、出力アッテネータ 画面を表示します。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



2. ヘッドホン 項目を選択し、Ω（ヘッドホン）端子への出力レベルを設定します。



選択肢：0 dB、-10 dB、-16 dB、聴覚保護（-22dB）*（初期値）

※ 欧州連合が推奨する出力レベル

第9章 パソコンと接続する

本機をパソコンと市販のUSBケーブルで接続することで、本機のSDカードの中のオーディオファイルをパソコンに取り出したり、パソコンの中のオーディオファイルを本機に取り込んだりすることができます。

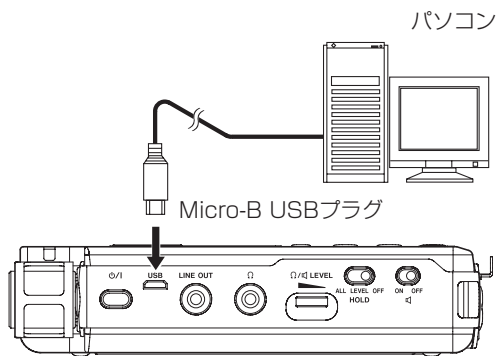
本機で取り扱うことができるオーディオファイル形式は、以下の通りです。

WAV (BWF) : 44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192k Hz、16/24ビット

MP3 : 44.1k/48kHz、128k/192k/256k/320kbps

メモ

- 本機は、USB 2.0 HIGH SPEEDマストレージクラス対応のパソコンと接続することを推奨します。
 - 本機とパソコンをUSB接続する代わりに、本機からSDカードを取り外して直接（あるいはカードアダプターを使って）パソコンにセットしても、同じ操作ができます。
 - WAV / BWFファイルの拡張子は、どちらも **“.wav”** となります。
1. パソコンと本機のUSB端子をUSBケーブル（Type-A - Micro-B）で接続します。



注意

パソコンとの接続は、ハブを経由せずに直接接続してください。

2. システム設定 画面の USBストレージ 項目を選択し、ENTER/MARKボタンを押すとパソコンと接続する確認画面が表示されます。（→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」）



3. 実行する場合は「はい」を選択、中止する場合は「いいえ」を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。USBストレージモードになり、パソコンと接続されます。



本機にSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。

4. “コンピュータ”を開くと、パソコンのディスプレイ上に本機が“DR-100MKIII”というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます（本機でフォーマットした場合）。

メモ

電池をセットした状態でUSB接続した場合は、USBから電源が供給されます。（USBバスパワー優先）

パソコンへファイルを取り出す

1. パソコンのディスプレイ上の“DR-100MKIII”ドライブをクリックすると、“MUSIC”フォルダーと“UTILITY”フォルダーが表示されます。
2. “MUSIC”フォルダーを開き、パソコンに取り出したいファイルを任意の場所にドラッグ&ドロップします。

パソコンからファイルを取り込む

1. パソコンのディスプレイ上の“DR-100MKIII”ドライブをクリックすると、“MUSIC”フォルダーと“UTILITY”フォルダーが表示されます。
2. パソコンの任意のオーディオファイルを“MUSIC”フォルダーにコピーします。

ヒント

- パソコン上の操作で、“MUSIC”フォルダー内を管理することができます。
- “MUSIC”フォルダー内にサブフォルダーを作成することができます。サブフォルダーは、2階層まで作成できます。本機では、3階層以下のサブフォルダーおよびファイルは認識できません。
- サブフォルダーや楽曲に希望の名前を付けておくと、本機のホーム画面上やブラウズ画面上に表示されます。

パソコンとの接続を解除する

パソコンと本機の接続を外すときは、パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、USBケーブルを外します。

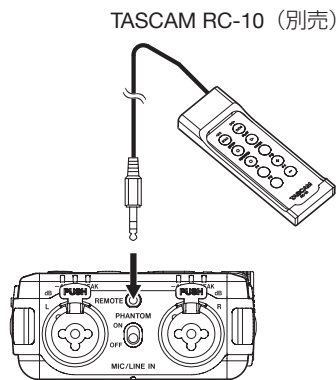
パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

ENTER/MARKボタンを押すと、パソコンとの接続を解除しホーム画面に戻ります。

第10章 REMOTE端子を使う

本機には、REMOTE端子が用意されています。
別売の専用フットスイッチ型リモコン (TASCAM RC-3F) または別売の専用ワイヤードリモコン (TASCAM RC-10) を接続して、本機を操作することができます。

リモコンを使う (TASCAM RC-10)

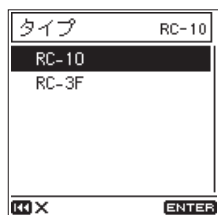


リモコンを設定する

1. システム設定画面の **リモート設定** 項目を選択し、リモート設定画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)



2. タイプ項目を RC-10 に設定します。(初期値: RC-10)



ファンクションボタンの詳細

ファンクションボタン			
F1	F2	F3	F4
INPUT L	INPUT L	INPUT	INPUT
VOL+	VOL-	VOL+	VOL-

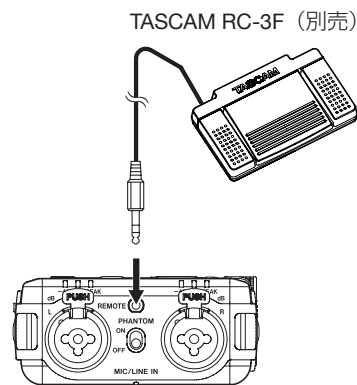
メモ

F3 / F4ボタンの操作対象 (L / STEREO / R) は、INPUT LEVEL選択スイッチで選択します。

リモコンを使う

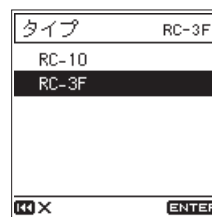
ワイヤードリモコンの各ファンクションボタン (F1~F4) を押すと、リモート設定画面で割り当てられた動作を行います。

フットスイッチを使う (TASCAM RC-3F)



フットスイッチを設定する

1. システム設定画面の **リモート設定** 項目を選択し、リモート設定画面を表示します。(→ 10ページ「メニューの基本的な操作方法」)
2. タイプ項目を RC-3F に設定します。(初期値: RC-10)



3. モード項目を選択し、フットスイッチのスイッチモードを設定します。



選択肢: 再生 (初期値)、録音1、録音2、議事録

モード	フットスイッチ		
	L	C	R
再生	◀◀	▶/	▶▶
録音1	■	●/	FILE INC
録音2	■	●/	MARK SET
議事録	↶*	▶/	USA ON/OFF

※ 3秒戻って再生します (ジャンプバック機能)。

フットスイッチを使う

フットスイッチの各ペダルを踏むと、リモート設定画面のモード項目で割り当てられた動作を行います。

第11章 メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。

DR-100MKIIIでは、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
ボタンがホールド状態です	HOLDスイッチにより入力レベルノブとボタンの操作が無効化されています。
LEVELがホールド状態です	HOLDスイッチにより入力レベルノブの操作が無効化されています。
電池が空になりました	内蔵バッテリーを充電するか、電池を交換してください。
電池容量不足	
内蔵バッテリーを充電してください	内蔵バッテリーを充電してください
お使いの前に内蔵バッテリーを充電して下さい	
カードがありません	SDカードをセットしてください。
書き込み禁止にされています	録音や消去を行う場合は、SDカードのライトプロテクト（書き込み防止）スイッチを解除してください。
カードエラー	SDカードを認識できません。SDカードを交換してください。
カード容量の上限です	SDカードの残容量がありません。
フォーマットエラー フォーマットします	SDカードが正常にフォーマットされていないか、SDカードが壊れている可能性があります。 ENTER/MARKボタンを押すと、フォーマットを実行します。 フォーマットを実行すると、SDカード内のデータは全て消去されます。
SDカードエラー カードを変えてください	SDカードが正常でない可能性があります。SDカードを交換してください。
HBRエラー カードを初期化します	SDカードが正常にフォーマットされていないか、SDカードが壊れている可能性があります。 ENTER/MARKボタンを押すと、フォーマットを実行します。 フォーマットを実行すると、SDカード内のデータは全て消去されます。フォーマットが実行できない場合は、SDカードを交換してください。
書き込みエラー 録音続きます	SDカードへの書き込みが間に合いませんでした。これにより音声の不連続になり、ノイズが発生します。 この不連続点には、BOFマークが付けられます。
カード速度低下 BOFマーク要確認	SDカードへの書き込み性能が低下しています。 SDカードへの書き込みが間に合わず、発生した不連続点にはBOFマークが付いています。 BOFマーク付近の音声を確認してください。 イレースフォーマットを実行するか、SDカードを交換してください。
不正システムファイル 再作成します	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常ではありません。 ENTER/MARKボタンを押して、システムファイルを作成してください。

メッセージ	内容と対処方法
システムファイルを再作成します	本機を使用するために必要なシステムファイルがありません。 ENTER/MARKボタンを押して、システムファイルを作成してください。
対象外ファイル	取り扱い可能なファイル形式については、リファレンスマニュアルをご覧ください。（→ 46ページ「第9章 パソコンと接続する」）
ファイル数の上限です	フォルダーとファイルの総数が制限値（5000個）を超えるため、録音できません。
ファイルがありません	ファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。 対象のファイルを確認してください。
プロテクト状態の為 消去できません	消去する場合は、ファイルのプロテクトを解除してください。
分割できません ファイルが短すぎます	ファイルが短すぎて分割できません。
MP3ファイルは 分割できません	MP3ファイルの分割はできません。
同名ファイルがあり 分割できません	ディバイドにより作成されるファイルと同じファイル名のファイルが同じフォルダー内にすでに存在します。 パソコンでファイル名を変更してください。
マークが無い為 分割できません	マーク分割は、マークが存在しないファイルでは実行できません。
マーク間隔が短すぎて 分割できません	マーク分割は、マークの間隔が2秒以内の場所があると実行できません。
ファイルが無いので 分割できません	オーディオファイルがありません。
ファイル名が不正な為 分割できません	分割するとファイル名の文字数の制限値（200文字）を超えるため実行できません。 パソコンでファイル名を変更してください。
マーク数制限に到達	マーク数が制限値（99個）に達しました。
フォルダが空でないで 消去できません	ファイルを含むフォルダーを消去することはできません。 フォルダーに含まれるファイルを全て消去してから再度実行してください。
HRIデータがありません	XRIデータが記録されていません。録音を開始する前にXRIデータ記録機能をオンにしてください。 MP3ファイルとして録音するときには、XRIデータは記録されません。
プロテクト状態の為 マーク編集できません	ファイルが書き込み禁止であるためマークを付けることができません。 マークを設定したい場合は、ファイルのプロテクトを解除してください。
ファイルが短すぎて マーク編集できません	ファイルが短すぎてマークを付けることができません。
デジタル入力 アンロック状態です	デジタル入力（DIGITAL IN端子）に接続されていないか、正しく信号が入力されていません。 デジタル接続を確認してください。
デジタル入力 ロックしました	デジタル入力に正しく検出されました。

メッセージ	内容と対処方法
デジタル入力のサンプルが一致しません	デジタル入力のサンプリング周波数が録音設定と一致しません。
I/O間隔が短すぎます	IN点（始点）とOUT点（終点）の間隔が短すぎます。1秒以上空けて設定してください。
温度注意 USBを接続してください	内蔵バッテリー／単3形電池を使用している状態で内部温度が上昇または低下しています。 USB接続で電源を供給すると継続使用できます。
動作範囲外温度	内部温度が上昇または低下しています。自動的にシステムをシャットダウンします。
デュアル録音できません サンプル要確認	デュアルレベル録音は、サンプリング周波数が176.4k/192kHzのときは使用できません。 デュアルフォーマット録音は、サンプリング周波数が88.2k/96k/176.4k/192kHzのときは使用できません。
デジタル入力ではデュアル録音できません	デュアルレベル録音およびデュアルフォーマット録音は、入力ソースがDIGITALのときは使用できません。
データが保存できません	これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れ直してください。
ファイルエラー	電源を切ることができない場合は、電池や別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）や外付けバッテリーパック（TASCAM BP-6AA）を取り外してください。
継続できません	
再生エラー	
書き込み失敗	
システムエラー ### (## は数字が入ります)	これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。

第12章 トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

電源が入らない。

- 内蔵バッテリーが十分充電されているか、または電池が正しくセットされているか確認してください。
- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）の電源プラグ、およびUSBコネクタがしっかりと差し込まれているか確認してください。USBハブを経由すると正しく動作しない場合があります。
- HOLDスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

電源が自動的に切れてしまう。

- オートパワーセーブ機能が設定されていませんか？（→ 41ページ「電源のオートパワーセーブ機能の設定」）
 - 本機は欧州待機時電力規制（ErP）に対応しているため、ACアダプター・電池使用時にかかわらずオートパワーセーブ機能が動作します。オートパワーセーブ機能を使用したくないときは「OFF」に設定してください（工場出荷時には「30分」に設定されています）。

CHGインジケーターのオレンジと緑のインジケーターが交互に点灯し続ける。

- 温度の高い場所や低い場所では、正しく充電できない場合があります。充電動作ができる温度（室温0℃以上30℃以下）で充電してください。

内蔵バッテリーの残量が正しく表示されない

- ご購入当初は、バッテリー残量が正しく表示されない場合があります。一度フル放電およびフル充電を行っていただくと、バッテリー残量の学習機能が更新され、正しく表示されます。

本体で操作できない。

- HOLDスイッチが「OFF」になっているか確認してください。
- USBストレージモード時は操作できません。
- 動作がおかしくなったときには、STOPボタンを押しながら **⏻/⏪**（電源）ボタンを10秒以上押し続けてください。強制的に電源をオフ（スタンバイ状態）にします。

SDカードを認識しない。

- SDカードがしっかりと挿入されているか確認してください。

音が出ない。

- 本機のヘッドホン/スピーカー出力レベルを確認してください。
- モニターシステムの接続、およびモニターシステム側の音量を確認してください。
- 以下のとき、スピーカーから音は出ません。
 - **🔊**（スピーカー）スイッチが「OFF」
 - 録音待機中または録音中
 - ヘッドホン使用時

録音できない。

- SDカードに十分な空き容量があることを確認してください。
- ファイル総数が5000ファイルに達すると録音できなくなります。

入力音が非常に小さい、もしくは非常に大きい。

- 入力レベルの設定を確認してください。
- 接続した外部機器の出力レベルを確認してください。

出力音が不自然に聴こえる。

- 再生スピード（VSA再生機能）を確認してください。
- レベルコントロール機能がオンになっていないか確認してください。

ファイルが消去できない。

- プロテクト（読み取り専用）されているファイルは、消去できません。

パソコン上に本機のファイルが表示されない。

- 本機がUSB端子経由でパソコンに正しく接続されているか確認してください。USBハブ経由で接続すると、正しく動作しない場合があります。
- 本機がUSBストレージモードになっているか確認してください。

言語を間違えて設定してしまった。

- **⏻/⏪**（電源）ボタンを押して電源をオフにした後、MENUボタンを押しながら **⏻/⏪**（電源）ボタンを押してください。言語選択メニューが表示され、言語の選択が可能となります。

定格

記録メディア

- SDカード (64MB ~ 2GB)
- SDHCカード (4GB ~ 32GB)
- SDXCカード (48GB ~ 128GB)

録音再生フォーマット

- WAV (BWF) : 44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192kHz,
16/24ビット
- MP3 : 44.1k/48kHz,
128k/192k/256k/320kbps

チャンネル数

- 2チャンネル (ステレオ)

入出力定格

アナログオーディオ入出力定格

MIC / LINE IN端子 (XLRのみファントム電源対応)

- コネクター : XLR-3-31
(1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)
- φ6.3mm (1/4") TRS標準ジャック
(Tip : HOT, Ring : COLD, Sleeve : GND)

入力ソース「MIC」選択時

- 最大入力レベル : +2dBu (PAD On)
- 最小入力レベル : -70.5dBu (PAD Off)
- 入力インピーダンス
 - XLR入力 : 2kΩ以上
 - TRS入力 : 20kΩ以上

入力ソース「LINE」選択時

- 最大入力レベル : +24dBu
- 基準入力レベル : +4dBu
- 入力インピーダンス : 20kΩ以上

EXT IN端子 (プラグインパワー対応)

- コネクター : φ3.5mm (1/8") ステレオミニジャック

入力ソース「EXT MIC」選択時

- 最大入力レベル : -2.8dBu (PAD On)
- 最小入力レベル : -62.8dBu (PAD Off)
- 入力インピーダンス : 50kΩ以上

入力ソース「EXT LINE」選択時

- 最大入力レベル : +6dBv
- 基準入力レベル : -10dBv
- 入力インピーダンス : 2kΩ以上

LINE OUT 端子

- コネクター : φ3.5mm (1/8") ステレオミニジャック
- 出力インピーダンス : 200Ω

入力ソース「LINE」選択時

- 基準出力レベル : -14dBV
- 最大出力レベル : +6dBV

その他

- 基準出力レベル : -10dBV
- 最大出力レベル : +6dBV

Ω (ヘッドホン) 端子

- コネクター : φ3.5mm (1/8") ステレオミニジャック
- 最大出力 : 40mW + 40mW
(ヘッドホン接続時、32Ω負荷時)

内蔵スピーカー

- 0.4W (モノラル)

デジタルオーディオ入力定格

DIGITAL IN端子

- コネクター : φ3.5mm (1/8") TSジャック (専用変換ケーブル使用)
- フォーマット : IEC60958-3 (S/PDIF)

コントロール入出力定格

USB端子

- コネクター : micro-Bタイプ
- フォーマット : USB2.0 HIGH SPEED
マストレージクラス

REMOTE端子

- コネクター : φ2.5mm (φ3/32") TRSジャック

オーディオ性能

周波数特性

- MIC/LINE IN (MIC, PAD On) to LINE OUT
- MIC/LINE IN (LINE) to LINE OUT
- EXT IN (MIC, PAD On) to LINE OUT
- EXT IN (LINE) to LINE OUT
- 20Hz-20kHz +0.5dB/-1dB
(Fs=44.1kHz/48kHz, JEITA)
- 20Hz-40kHz +0.5/-2dB
(Fs=88.2kHz/96kHz, JEITA)
- 20Hz-80kHz +0.5/-4dB
(Fs=176.4kHz/192kHz, JEITA)

歪率

- MIC/LINE IN (MIC, PAD On) to LINE OUT
- MIC/LINE IN (LINE, +20dBu In) to LINE OUT
- EXT IN (MIC, PAD On) to LINE OUT
- EXT IN (LINE) to LINE OUT
- 0.007%以下 (Fs=44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192kHz, JEITA)

S/N比

- MIC/LINE IN (MIC, PAD On) to LINE OUT
- MIC/LINE IN (LINE) to LINE OUT
- EXT IN (MIC, PAD On) to LINE OUT
- EXT IN (LINE) to LINE OUT
- 102dB以上 (Fs=44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192kHz, JEITA)

等価入力雑音

- 124dBu以下

注) JEITA : JEITA CP-2150準拠

第13章 仕様

一般

電源

内蔵リチウムイオン充電電池
単3形電池2本
(アルカリ乾電池、ニッケル水素電池またはリチウム乾電池)
パソコンからのUSBバスパワー
専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E、別売)
専用外付けバッテリーパック (TASCAM BP-6AA、別売)

消費電力

7.5W (最大時)

電池持続時間 (連続動作時)

- 内蔵バッテリー (リチウムイオン充電電池) 使用時

使用条件	持続時間
UNI MIC (内蔵指向性マイク) 入力 ファントム電源未使用 STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	約12時間
MIC/LINE IN端子/マイク入力 ファントム電源使用時 (+48V、負荷: 3mA x2) STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	約6時間

- アルカリ乾電池 (EVOLTA) 使用時

使用条件	持続時間
UNI MIC (内蔵指向性マイク) 入力 ファントム電源未使用 STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	約2時間45分
MIC/LINE IN端子/マイク入力 ファントム電源使用時 (+48V、負荷: 3mA x2) STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	約1時間

- ニッケル水素電池 (eneloop) 使用時

使用条件	持続時間
UNI MIC (内蔵指向性マイク) 入力 ファントム電源未使用 STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	約3時間30分
MIC/LINE IN端子/マイク入力 ファントム電源使用時 (+48V、負荷: 3mA x2) STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	約2時間15分

- リチウム乾電池 (Energizer ULTIMATE LITHIUM) 使用時

使用条件	持続時間
UNI MIC (内蔵指向性マイク) 入力 ファントム電源未使用 STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	約7時間
MIC/LINE IN端子/マイク入力 ファントム電源使用時 (+48V、負荷: 3mA x2) STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	約3時間30分

メモ

- 電池持続時間 (連続動作時) は、お使いの記録メディアにより記載された値から変動することがあります。]
- ファントム電源を使用時には、ご使用になるマイクにより持続時間が短くなる場合があります。

充電時間

- USB入力時 : 約10時間
- PS-P520E使用時 : 約4.5時間

外形寸法

80 x 155.7 x 35mm (幅 x 高さ x 奥行き、突起部を含まず)

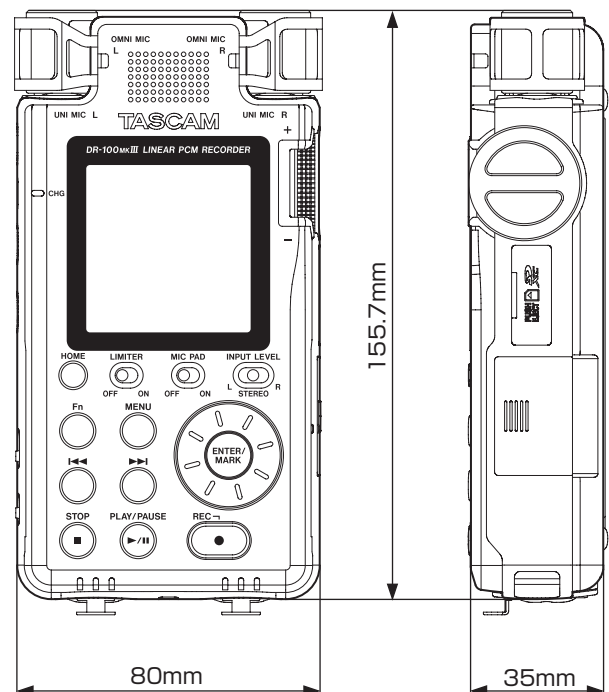
質量

425g / 375g (電池を含む/電池を含まず)

動作温度

0 ~ 40°C

寸法図



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-809

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<https://tascam.jp/jp/>

0817.MA-2405B